

令和6年度(道補)町道亘理浜吉田線下浜街道橋外橋梁修繕工事

設 計 図

当初

亘 理 町 都 市 建 設 課

実 施

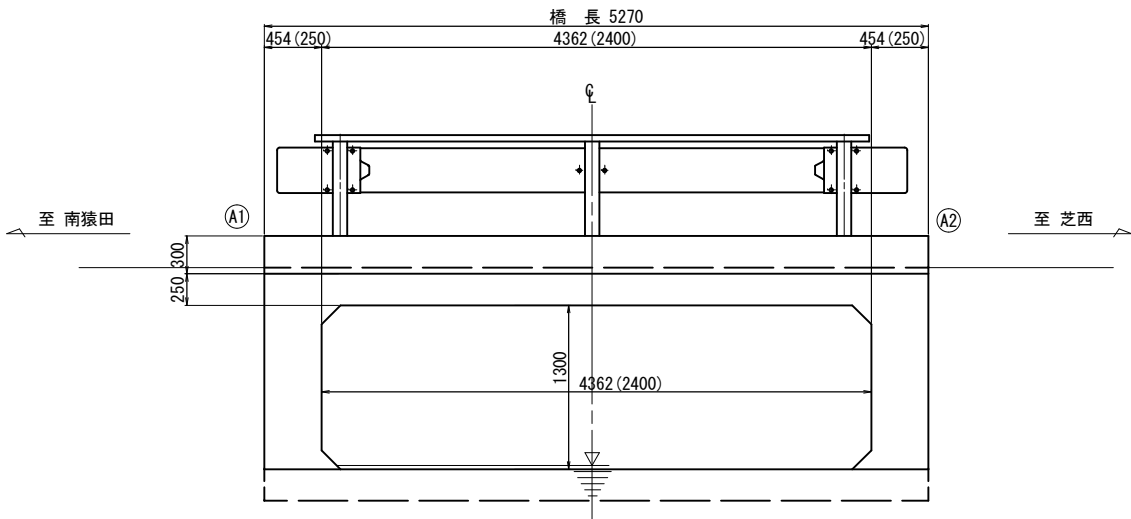
目次

No.	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	備 考
	【下浜街道橋】			
1	現況一般図	図 示	1	
2	補修一般図	図 示	2	
3	頂版補修図	図 示	3	
4	床版防水・再舗装工図	図 示	4	
5	防護柵補修図	図 示	5	
6	防護柵部分交換工図	図 示	6	
7	表面含浸工補修図	図 示	7	
	【新丁北橋】			
8	現況一般図	図 示	1	
9	補修一般図	図 示	2	
10	上部工補修図	図 示	3	
11	下部工補修図	図 示	4	
12	床版防水・再舗装工図	図 示	5	
13	表面含浸工補修図	図 示	6	
	【無名橋20】			
14	現況一般図	図 示	1	
15	補修一般図	図 示	2	
16	上部工補修図	図 示	3	
17	下部工補修図	図 示	4	
18	地覆補修図	図 示	5	
19	表面含浸工補修図	図 示	6	

[illegible]

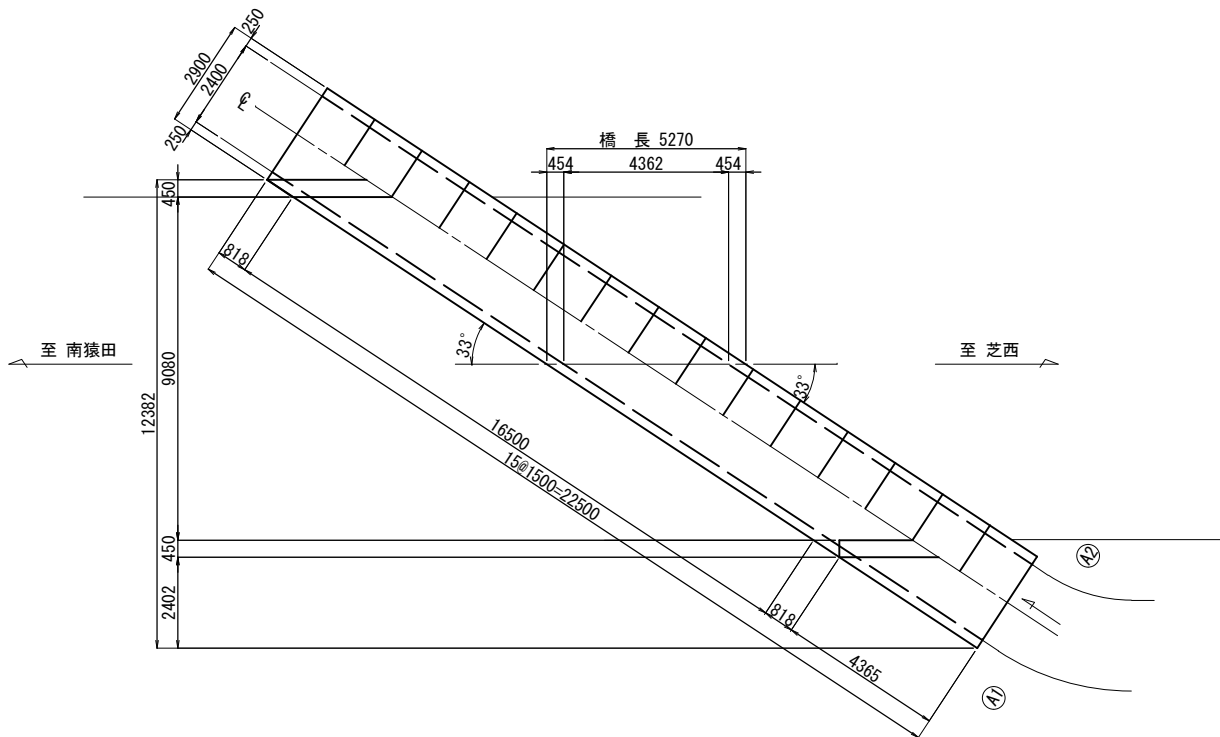
下浜街道橋 現況一般図

側面図 S=1:30

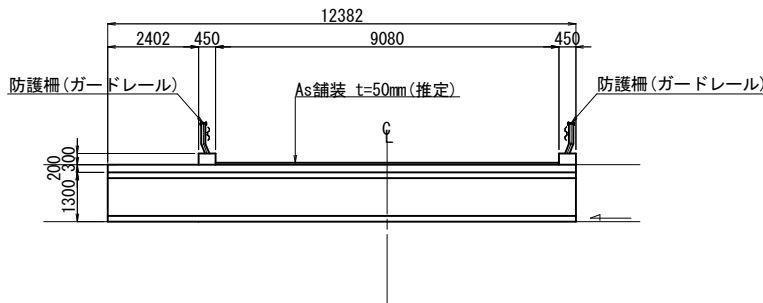


平面図 S=1:100

※()内は直方向寸法を示す。



断面図 S=1:100



設計条件

橋種	RC溝橋
交差条件	水路
型式	BOXカルバート
橋長	5.270m
幅員	12.382m (有効9.080m)
斜角	33°
活荷重	不明
添架物	-
躯体形式	橋台
	橋脚
基礎形式	橋台 直接基礎
	橋脚 -
適用示方書	昭和39年道示
竣工年	昭和41年

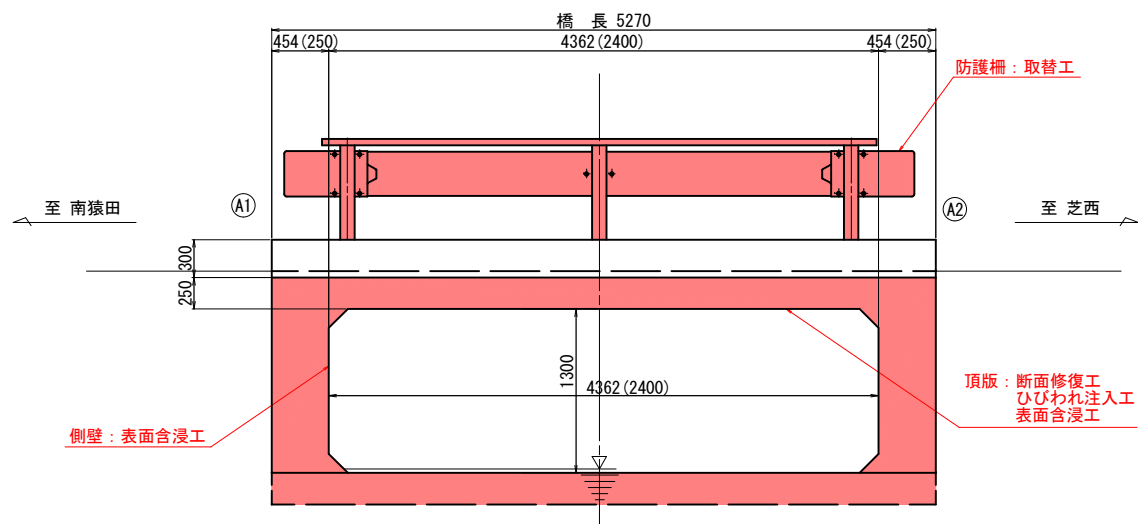
実施

工事番号	号		
路線名	町道亘理浜吉田線		
施工地名	亘理市	亘理町新田	地内
工事名	令和6年度(道補)町道亘理浜吉田線下浜街道橋外構整備工事		
図面名	下浜街道橋 現況一般図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
亘理町	図番		

- 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
- 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。

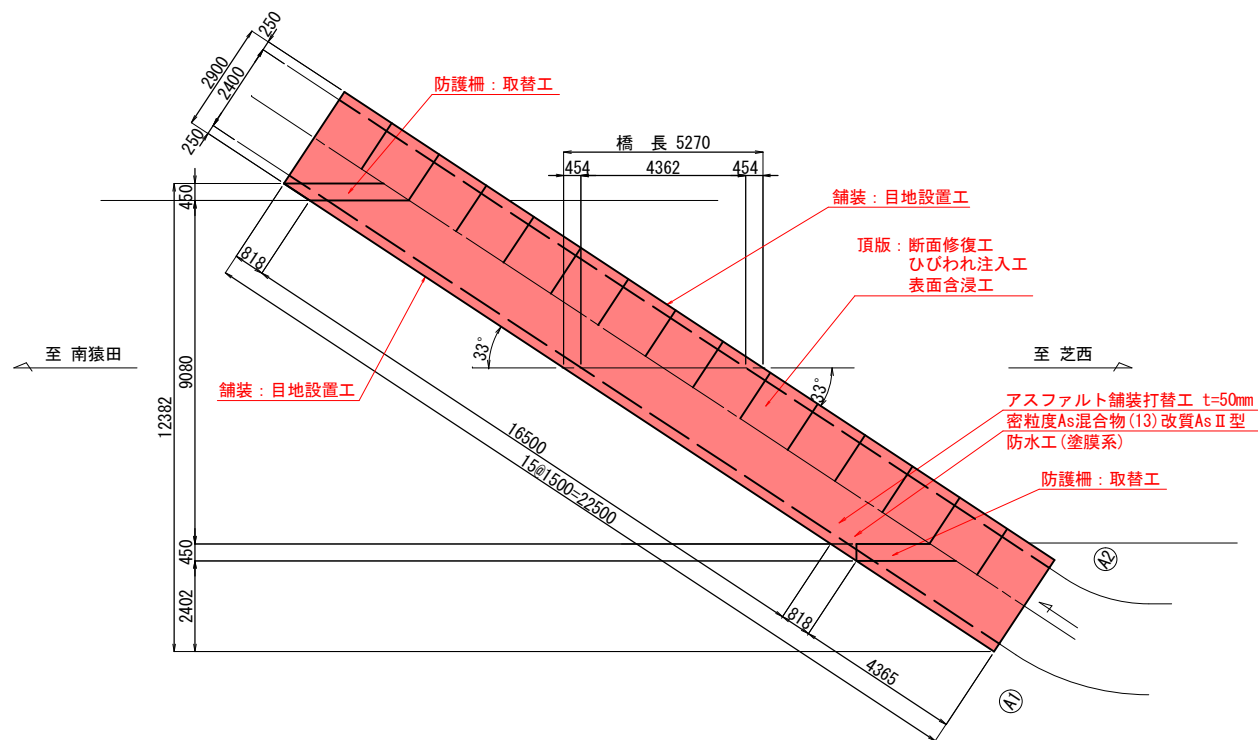
下浜街道橋 補修一般図

側面図 S=1:30

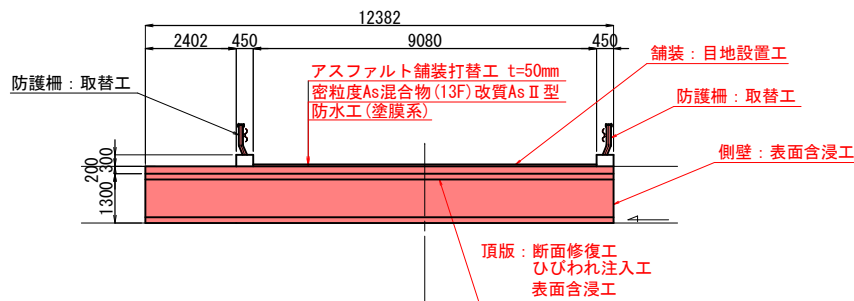


※ () 内は直方向寸法を示す。

平面図 S=1:100



断面図 S=1:100



補修・補強項目一覧表

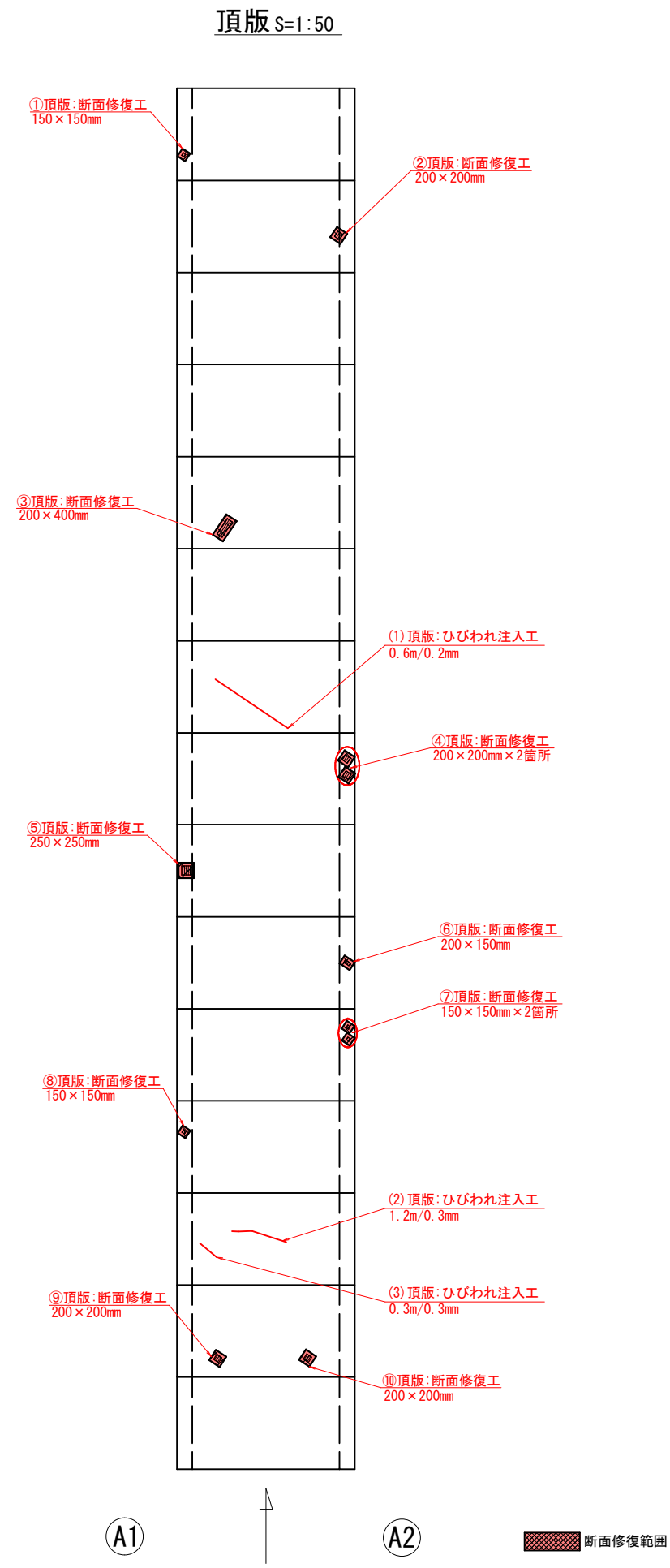
工 種	部 位	備 考
床版防水・再舗装工	舗装	
目地設置工		
防護柵補修工	防護柵	
上部工補修工	頂版	
表面含浸工	頂版, 側壁	

実 施

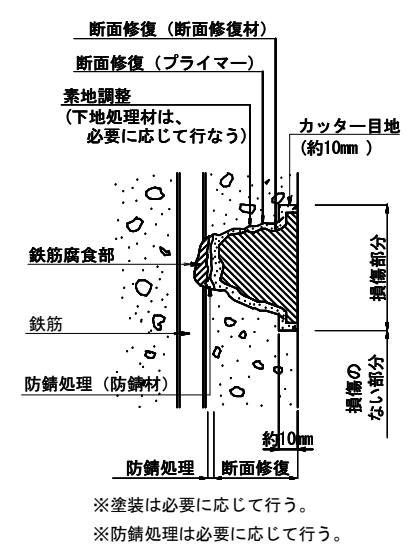
工事番号	号		
路線名	町道亘理浜吉田線		
施工地名	亘理市	亘理町新田	地内
工事名	令和6年度(道補)町道亘理浜吉田線下浜街道橋外構受修補工事		
図面名	下浜街道橋 補修一般図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
亘理町	図番		

- 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
- 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。

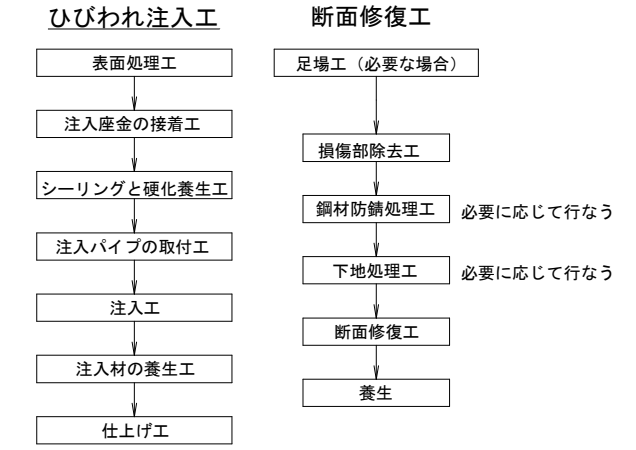
下浜街道橋 頂版補修図



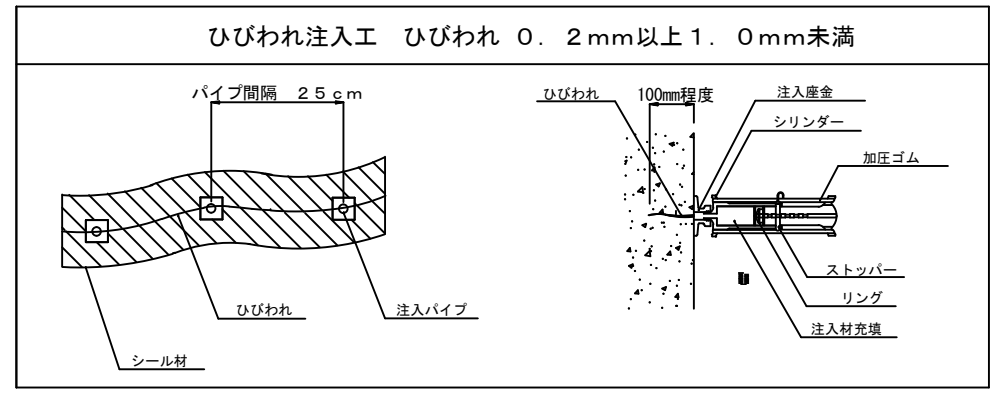
断面修復工詳細図 (参考図)



施工手順フロー



ひびわれ補修工詳細図 (参考図)



断面修復工数量表					※修復深さは5cmを目安とする。	
位置	単位	数量計算		数量	摘要	
頂版	①	m3	$0.15 \times 0.15 \times 0.05$	=	0.002	
	②	m3	$0.20 \times 0.20 \times 0.05$	=	0.002	
	③	m3	$0.20 \times 0.40 \times 0.05$	=	0.004	
	④	m3	$0.20 \times 0.20 \times 0.05 \times 2$ 箇所	=	0.004	
	⑤	m3	$0.25 \times 0.25 \times 0.05$	=	0.004	
	⑥	m3	$0.20 \times 0.15 \times 0.05$	=	0.002	
	⑦	m3	$0.15 \times 0.15 \times 0.05 \times 2$ 箇所	=	0.003	
	⑧	m3	$0.15 \times 0.15 \times 0.05$	=	0.002	
	⑨	m3	$0.20 \times 0.20 \times 0.05$	=	0.002	
	⑩	m3	$0.20 \times 0.20 \times 0.05$	=	0.002	
合計	m3			=	0.027	

ひび割れ補修工数量表				
位置	単位	数量	摘要	
頂版	(1)	m	0.60	0.20mm
	(2)	m	1.20	0.30mm
	(3)	m	0.30	0.30mm
小計	m	0.60	0.20mm	
合計	m	1.50	0.30mm	

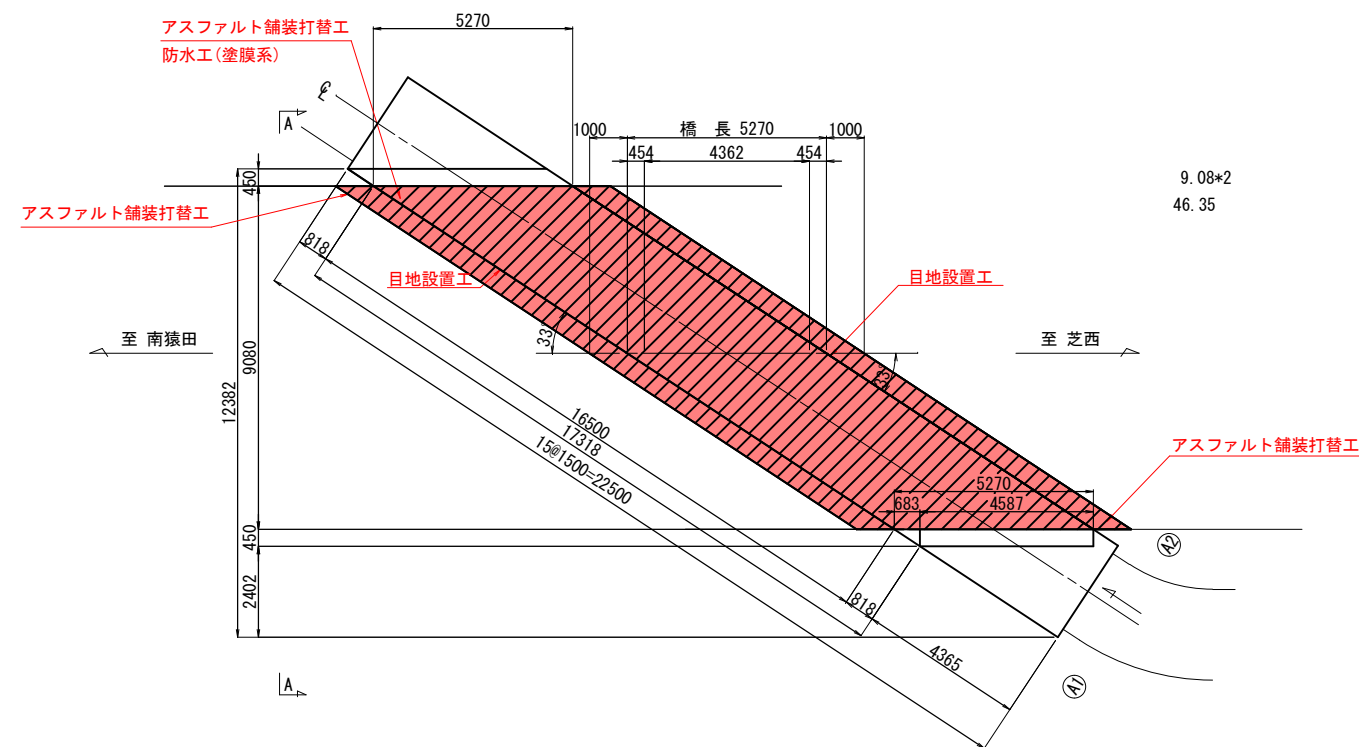
実施

注)
1. 本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認の上施工すること。
3. 鉄筋の損傷が著しい場合、発注者と協議の上対策を講じること。
4. 健全な部分のコンクリートまではつり取らない様、留意すること。

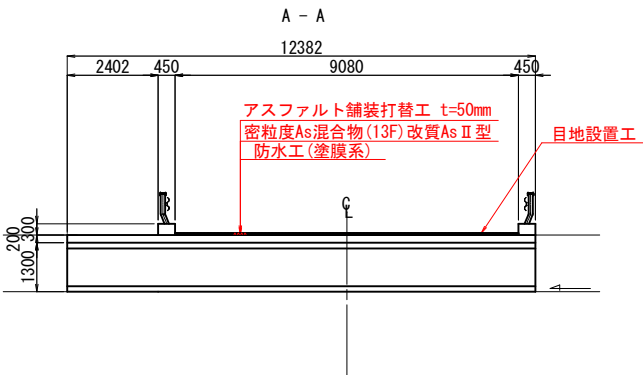
工事番号	号		
路線名	町道亘理浜吉田線		
施工地名	亘理市	亘理町新田	地内
工事名	令和年度(道補)町道亘理浜吉田線下浜街道橋外構修繕工事		
図面名	下浜街道橋 頂版補修図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
亘理町	図番		

下浜街道橋 床版防水・再舗装工図

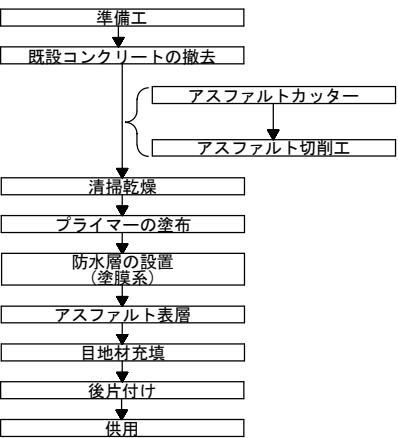
平面図 S=1:100



断面図 S=1:100



施工順序



床版防水工数量表

項	目	単位	数	量	摘	要
防水層	塗膜系	m ²	47.9			
成型目地材	5 mm 厚	m	9.9			
端部目地材処理	5 mm 厚	m	9.9			

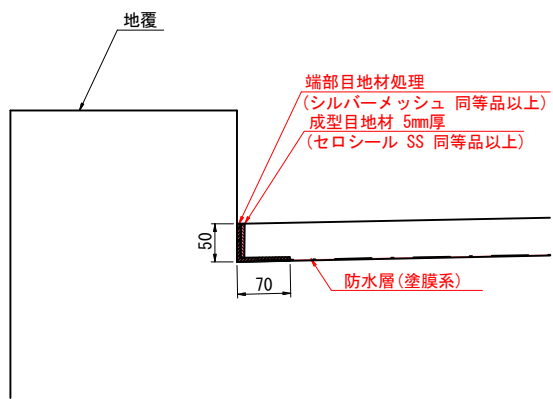
舗装工数量表

項	目	単位	数	量	摘	要
舗装版撤去	路面切削工	t=50mm m ²	66.0		アスファルト	
	産廃運搬工	m ³	3.3			
	産廃処理工	m ³	3.3			
舗装版新設	表層工	t=50mm m ²	66.0		密粒度As混合物(13F)改質Ⅱ型	

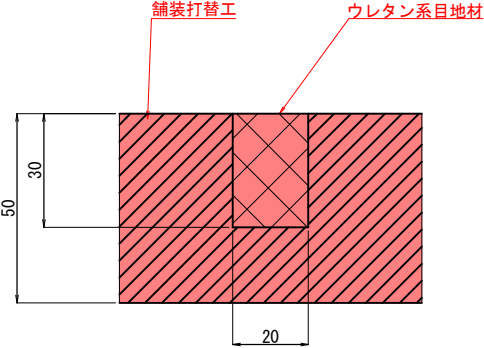
目地設置工数量表

項	目	単位	数	量	摘	要
目地設置工		m	33.8			
目地材	ウレタン系目地材	kg	24.8			

防水層詳細図 S=1:5



目地設置工詳細図 S=1:1



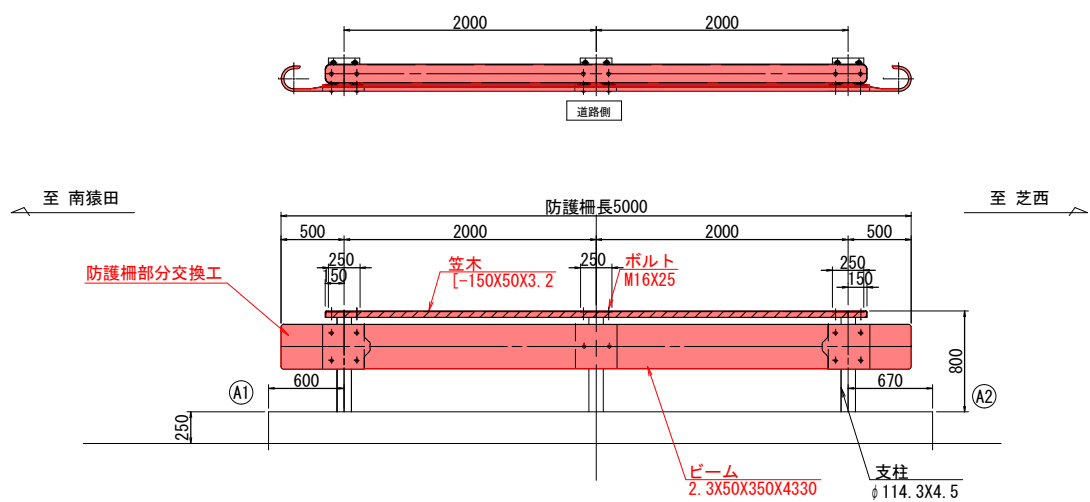
実施

- 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
- 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。
- 目地材充填の際には、必要に応じてプライマー塗布を行うこと。

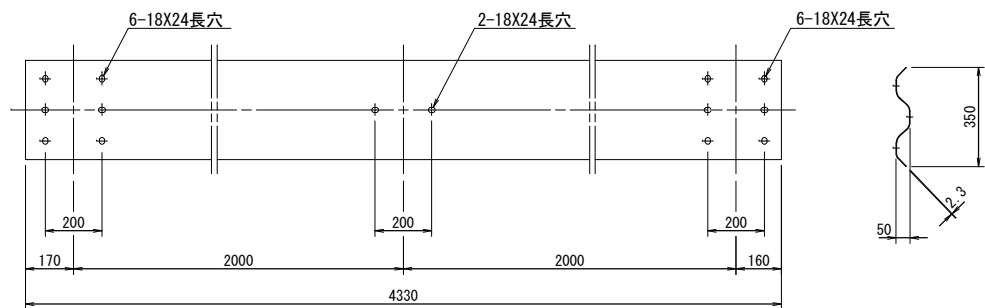
工事番号	号
路線名	町道亘理浜吉田線
施工地名	亘理市 亘理町新田 地内
工事名	令和年度(追加)町道亘理浜吉田線下浜街道橋外構整備工事
図面名	下浜街道橋 床版防水・再舗装工図
縮尺	図示 位置
設計者	設計年度
亘理町	図番

下浜街道橋 防護柵部分交換工図

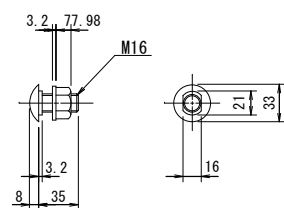
側面図 S=1:30



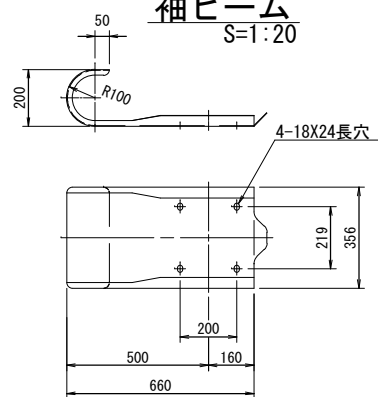
ビーム S=1:20



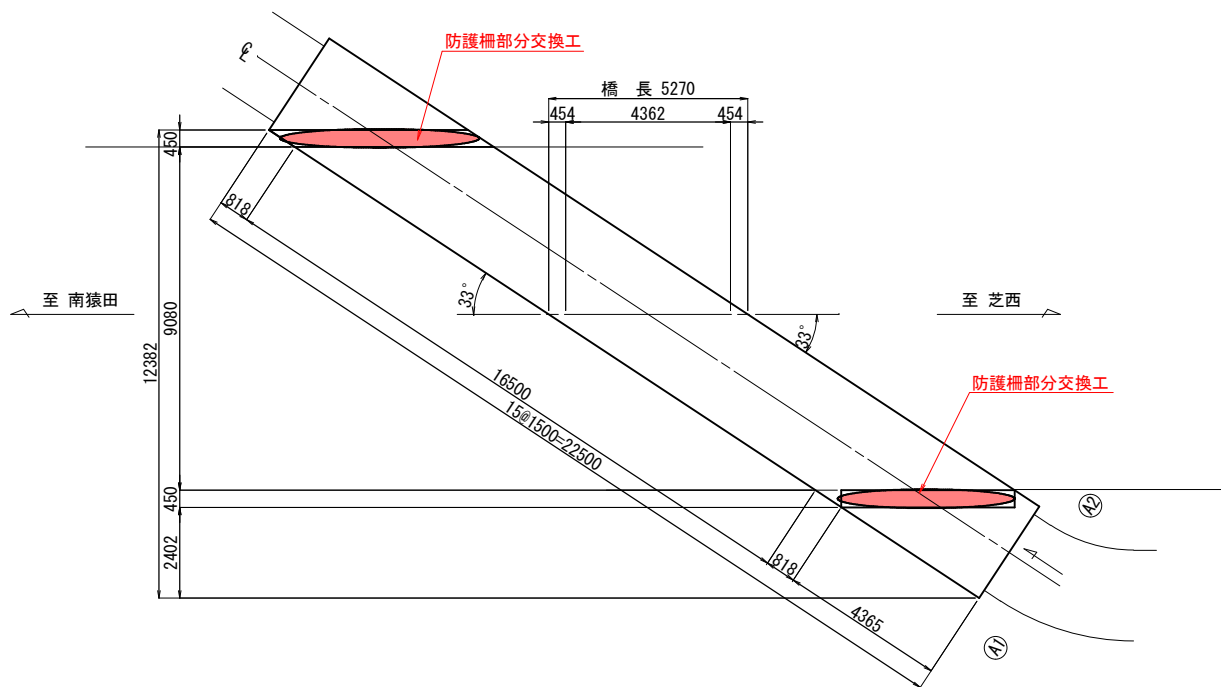
ビーム取付用B. N. W. (6. 8) S=1:5



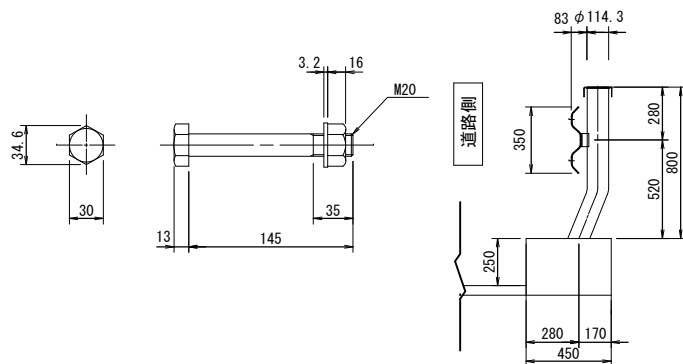
袖ビーム S=1:20



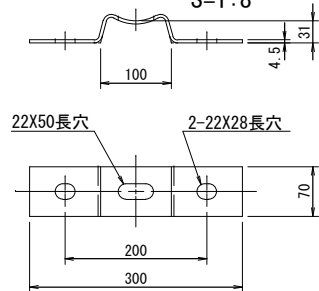
平面図 S=1:100



ブラケット取付用B. N. W. (4. 6) S=1:5



ブラケット S=1:8



注記： 本図は道路側から見た図面である。

防護柵補修工数量表

種別	規格	単位	数量	備考
新設数量				
袖ビーム		m	2.6	
ビーム	2.3×50×350×4330	m	8.7	
ブラケット取り付け用B. N. W	M16	組	28	
ビーム取り付け用B. N. W	M20	組	12	
笠木	[-150×50×3.2	m	8.6	
防護柵長		m	10.0	
撤去数量				
袖ビーム		m	2.6	
ビーム	2.3×50×350×4330	m	8.7	
笠木	[-150×50×3.2	m	8.6	

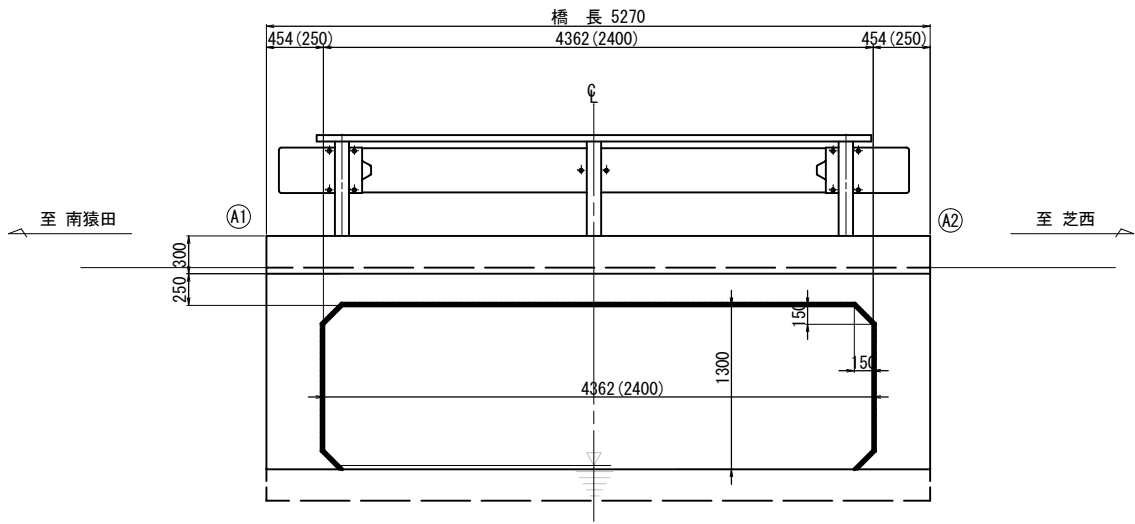
実施

工事番号	号
路線名	町道亘理浜吉田線
施工地名	亘理市 亘理町新田 地内
工事名	令和年度(道補)町道亘理浜吉田線下浜街道橋外柵梁修繕工事
図面名	下浜街道橋 防護柵部分交換工図
縮尺	図示 位置
設計者	設計 年度
亘理町	図番

1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
2. 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。

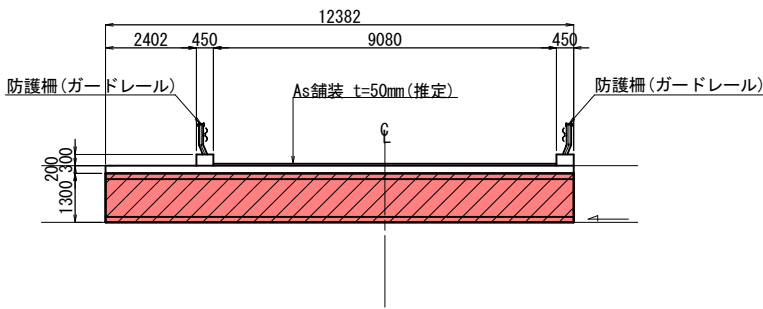
下浜街道橋 表面含浸工補修図

側面図 S=1:30

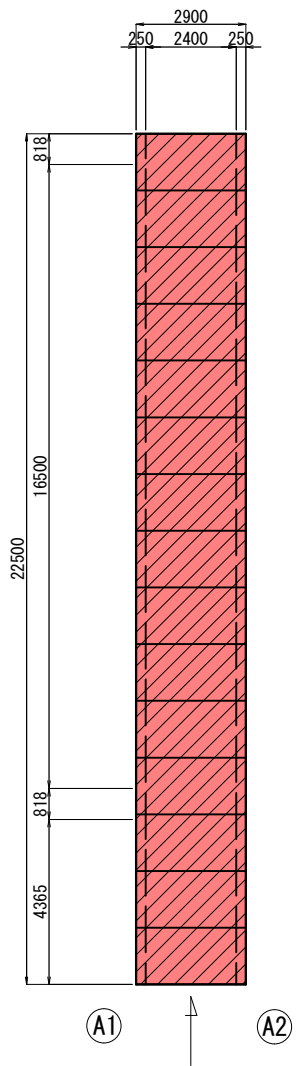


※()内は直方向寸法を示す。

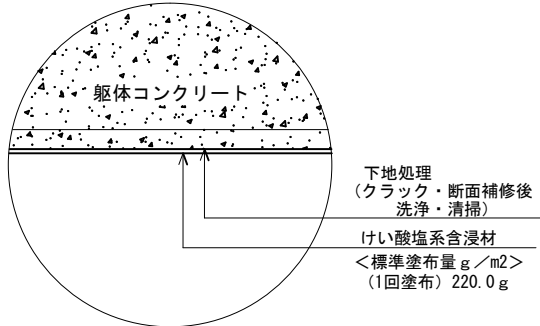
断面図 S=1:100



平面図 S=1:100



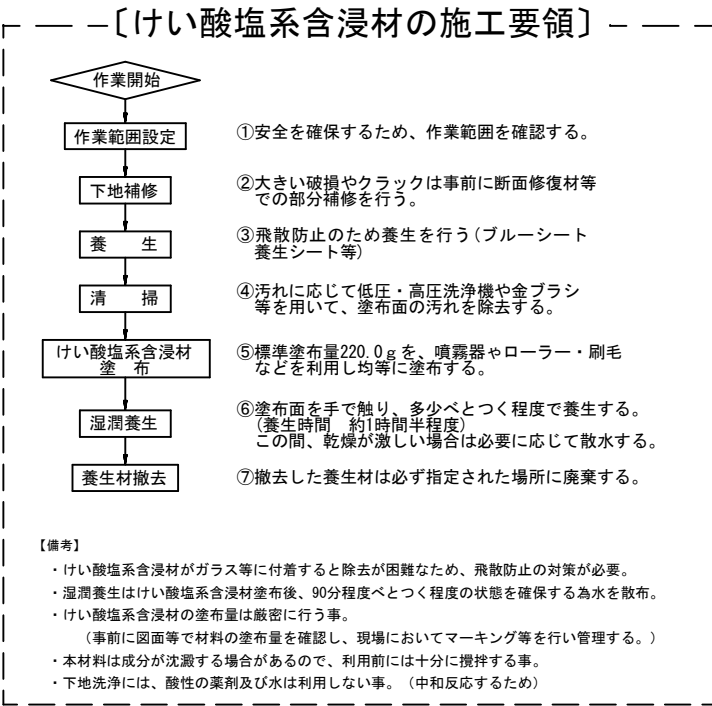
表面含浸工詳細図



1.0㎡あたりの施工塗布量 単位 (g)	
標準塗布量	けい酸塩系含浸材 220.0

項目	目標値
性状	5~150nmのポリシリケートおよび粒子コロイド
主成分	けい酸ナトリウム・けい酸カリウム
水酸化カルシウムとの反応	有
乾燥固形分率	12%以上
種類	反応型けい酸塩系表面含浸材
密度	1.05以上
pH値	11.0以上
色	無色

表面含浸工範囲



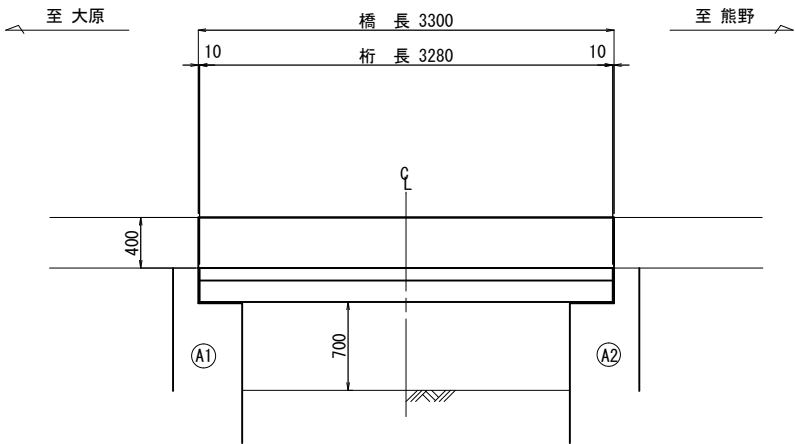
実施

工事番号	号
路線名	町道亘理浜吉田線
施工地名	亘理市 亘理町新田 地内
工事名	令和年度(道橋)町道亘理浜吉田線下浜街道橋外構修繕工事
図面名	下浜街道橋 表面含浸工補修図
縮尺	図示 位置
設計者	設計年度
亘理町	図番

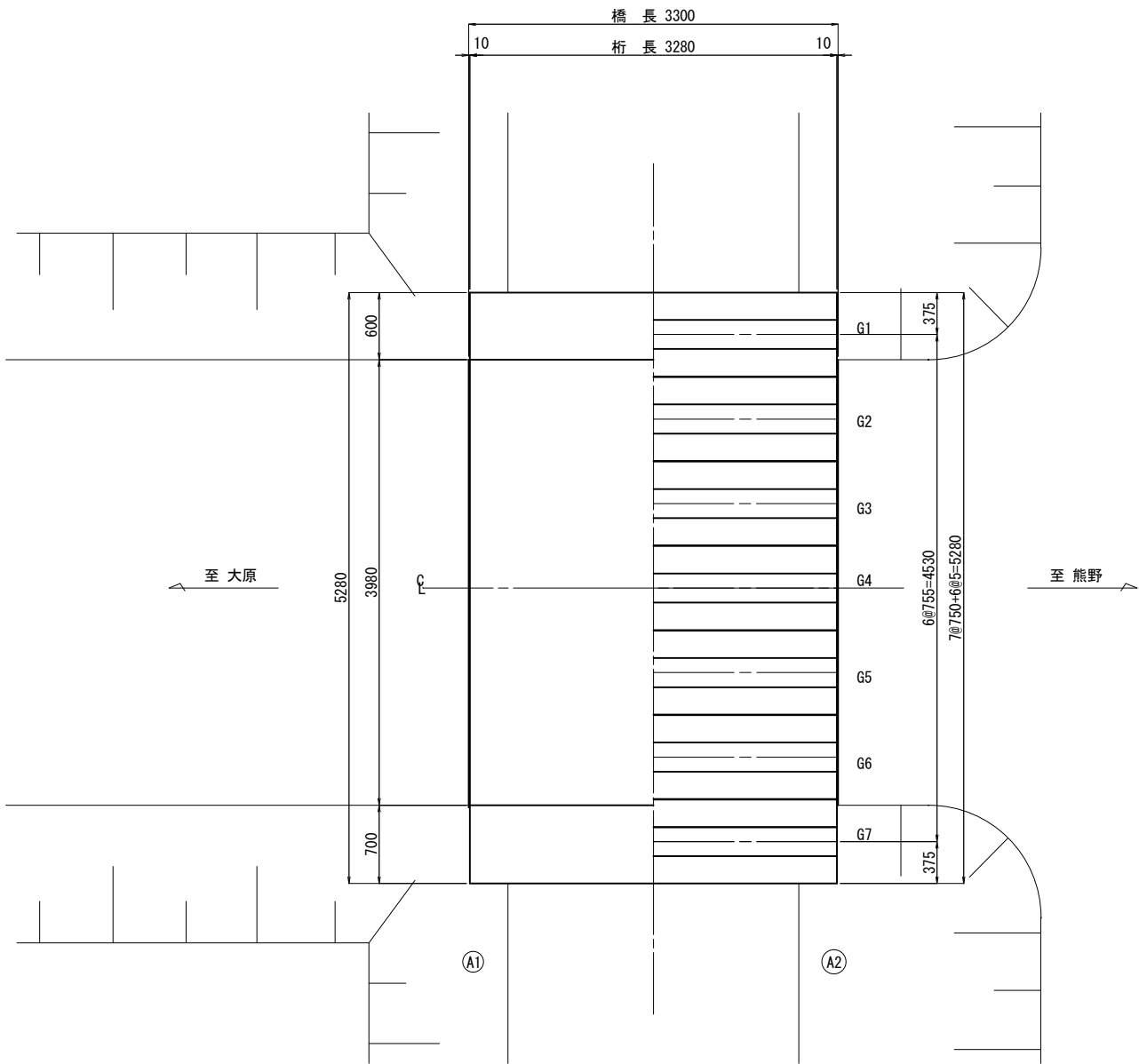
1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
2. 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。

新丁北橋 現況一般図

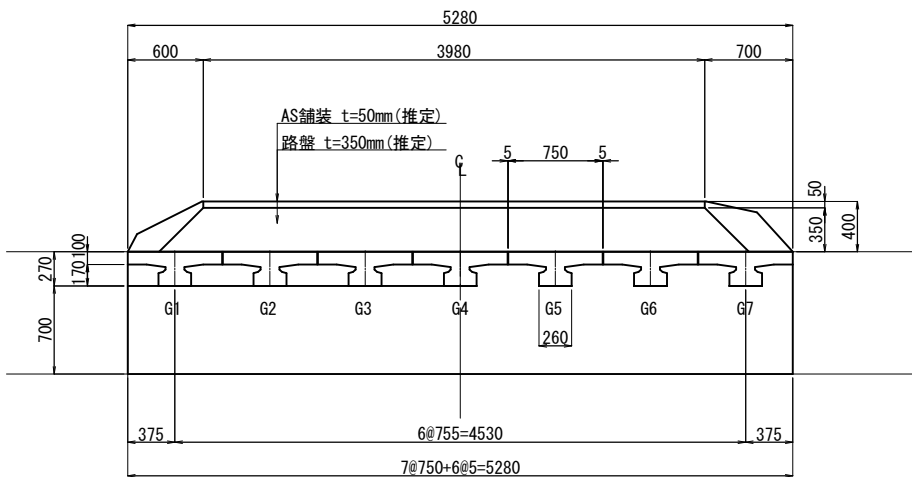
側面図 S=1:30



平面図 S=1:30



断面図 S=1:30



設計条件	
橋種	コンクリート橋
交差条件	水路
型式	プレテンT桁橋
橋長	3.300m
幅員	5.280m (有効3.980m)
斜角	90°
活荷重	不明
添架物	-
躯体形式	橋台
橋脚	-
基礎形式	橋台
橋脚	-
適用示方書	昭和39年道示
竣工年	昭和41年

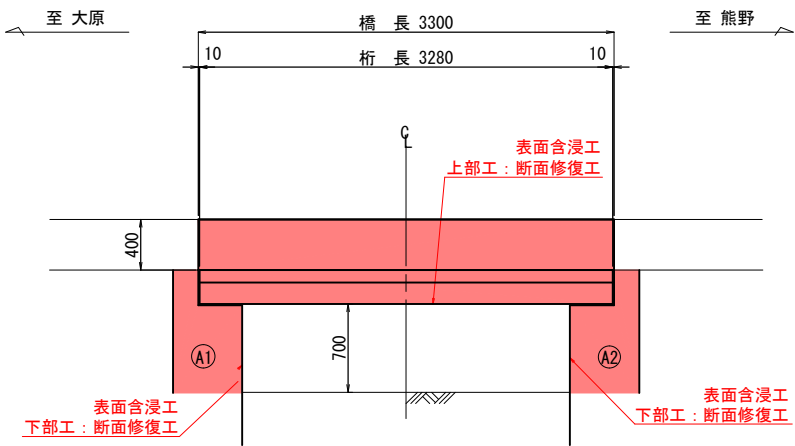
実施

工事番号	号		
路線名	町道大原北新丁線		
施工地名	亶理市	亶理町逢隈牛袋	地内
工事名	令和6年度(道補)町道亶理市吉田線下浜街道橋外構梁修繕工事		
図面名	新丁北橋 現況一般図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
亶理町	図番		

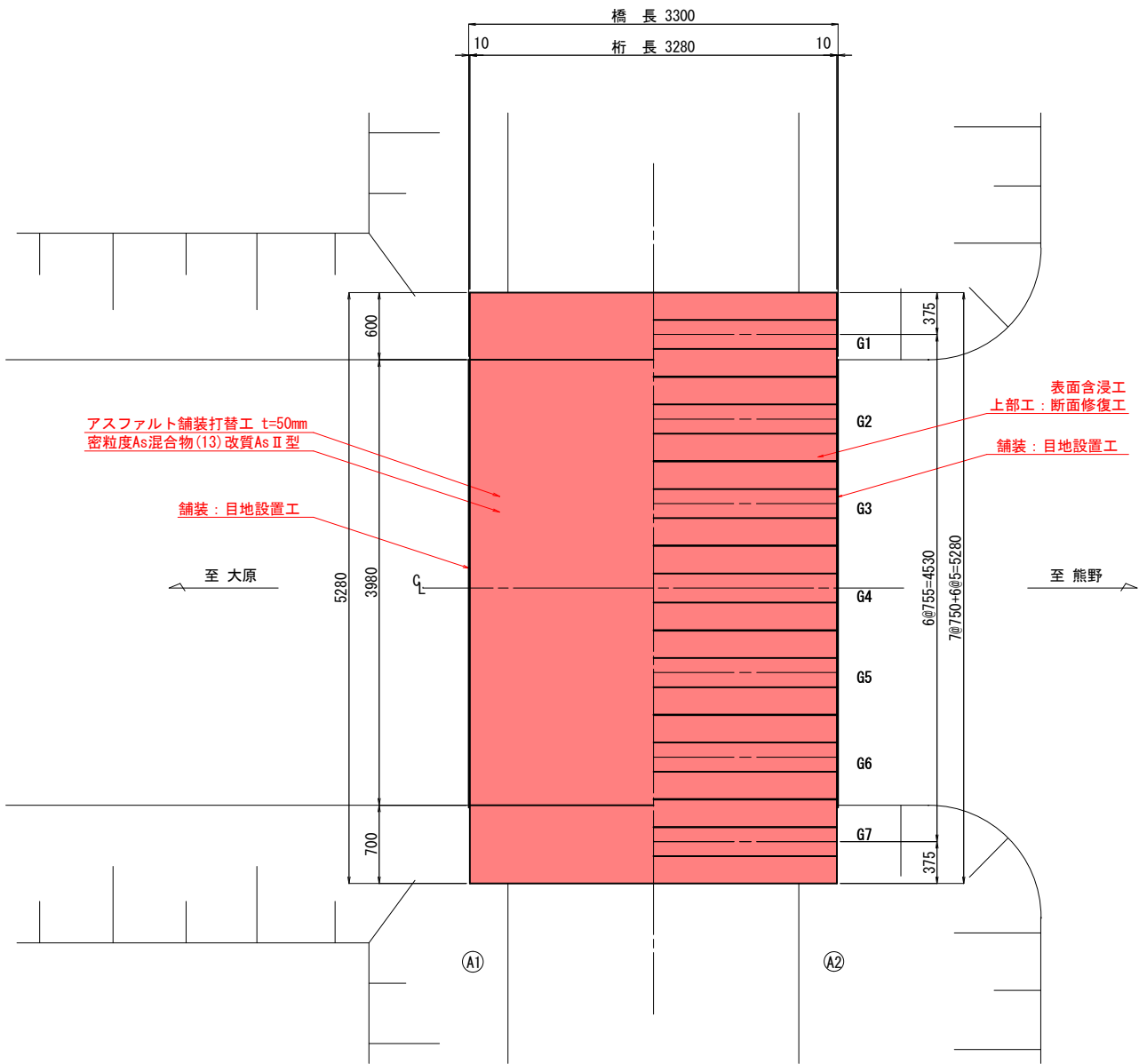
1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
2. 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。

新丁北橋 補修一般図

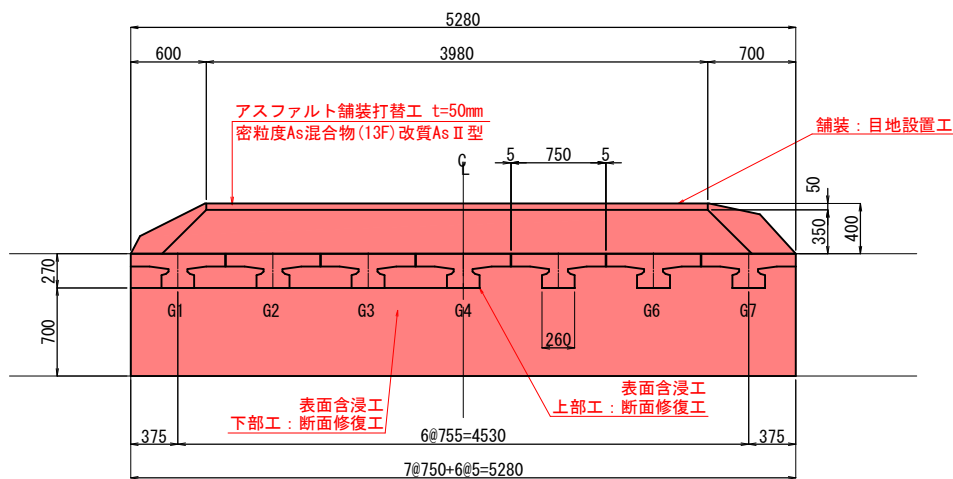
側面図 S=1:30



平面図 S=1:30



断面図 S=1:30



補修・補強項目一覧表

工 種	部 位	備 考
舗装打替工	舗装	
目地設置工	舗装	
上部工補修工	主桁, 床版, 横桁	
下部工補修工	A1, A2	
表面含浸工	主桁, 縦壁, 側壁	

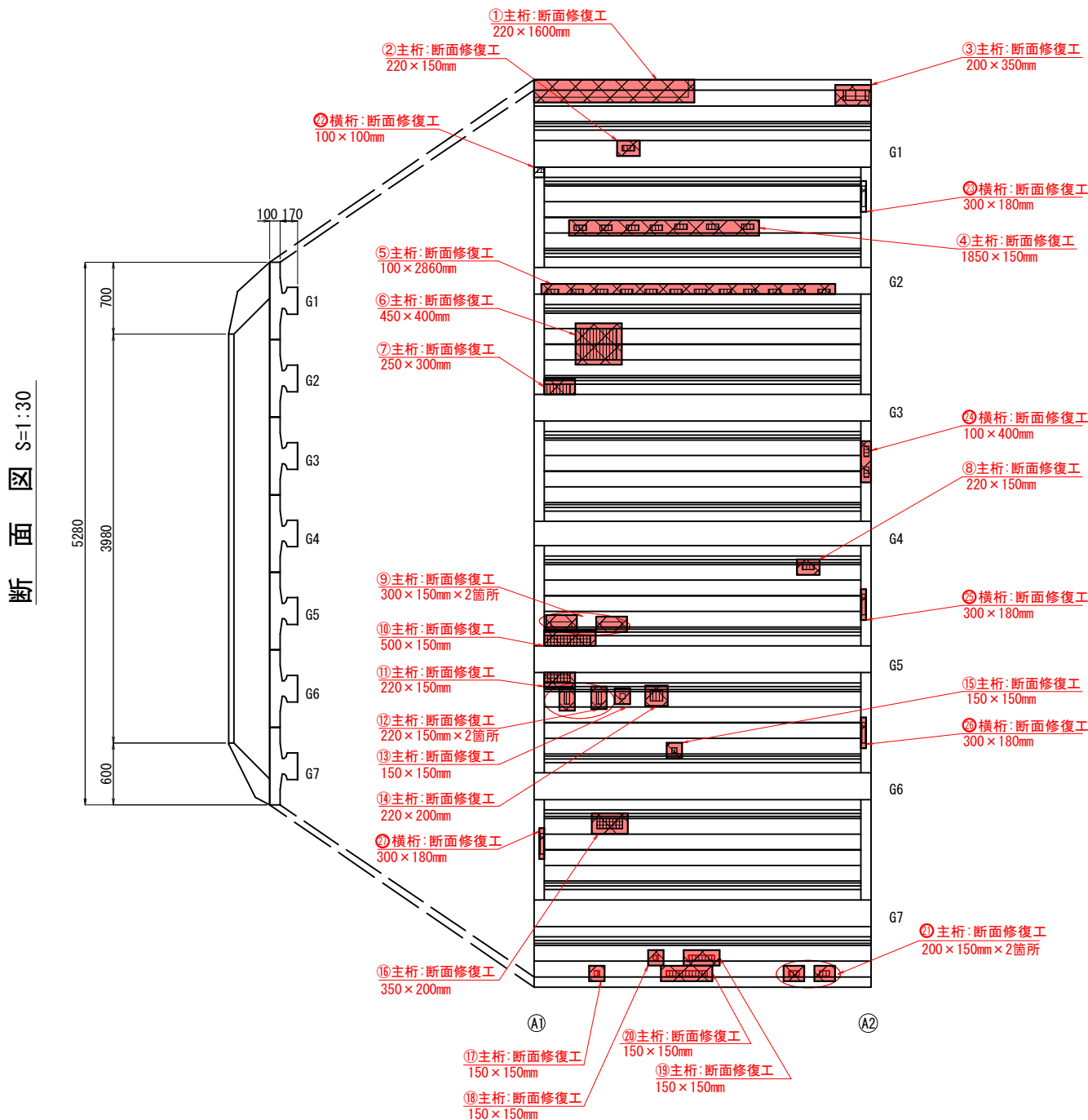
実 施

工事番号	号
路線名	町道大原北新丁線
施工地名	亶理市 亶理町逢隈牛袋 地内
工事名	令和6年度(道補)町道亶理市吉田線下浜街道橋外構梁修繕工事
図面名	新丁北橋 補修一般図
縮 尺	図 示 位置
設 計 者	設計 年度
亶 理 町	図 番

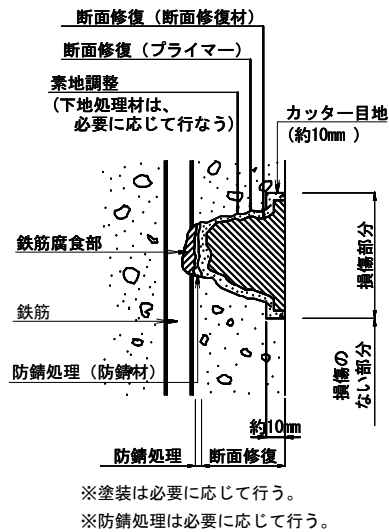
1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
2. 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。

新丁北橋 上部工補修図

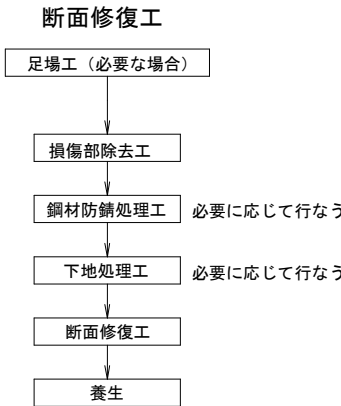
桁 下 面 S=1:30



断面修復工詳細図 (参考図)



施工手順フロー



断面修復工数量表

※修復深さは5cmを目安とする。

位置	単位	数量計算	数量	摘要
主 桁	(1)	m3 0.22×1.60×0.05	= 0.018	
	(2)	m3 0.22×0.15×0.05	= 0.002	
	(3)	m3 0.35×0.20×0.05	= 0.004	
	(4)	m3 1.85×0.15×0.05	= 0.014	
	(5)	m3 2.86×0.10×0.05	= 0.015	
	(6)	m3 0.45×0.40×0.05	= 0.009	
	(7)	m3 0.25×0.30×0.05	= 0.004	
	(8)	m3 0.22×0.15×0.05	= 0.002	
	(9)	m3 0.30×0.15×0.05×2箇所	= 0.005	
	(10)	m3 0.50×0.15×0.05	= 0.004	
	(11)	m3 0.22×0.15×0.05	= 0.002	
	(12)	m3 0.22×0.15×0.05×2箇所	= 0.004	
	(13)	m3 0.15×0.15×0.05	= 0.002	
	(14)	m3 0.22×0.20×0.05	= 0.003	
	(15)	m3 0.15×0.15×0.05	= 0.002	
	(16)	m3 0.35×0.20×0.05	= 0.004	
	(17)	m3 0.15×0.15×0.05	= 0.002	
	(18)	m3 0.15×0.15×0.05	= 0.002	
	(19)	m3 0.35×0.15×0.05	= 0.003	
	(20)	m3 0.50×0.15×0.05	= 0.004	
	(21)	m3 0.20×0.15×0.05×2箇所	= 0.003	
横 桁	(22)	m3 0.10×0.10×0.05	= 0.001	
	(23)	m3 0.30×0.18×0.05	= 0.003	
	(24)	m3 0.10×0.40×0.05	= 0.002	
	(25)	m3 0.30×0.18×0.05	= 0.006	
	(26)	m3 0.30×0.18×0.05	= 0.003	
	(27)	m3 0.30×0.18×0.05	= 0.003	
合 計		m3	= 0.129	

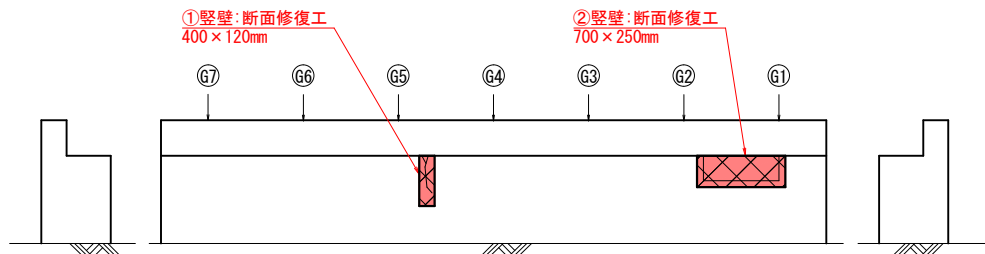
実 施

- 注)
- 本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
 - 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認の上施工すること。
 - 鉄筋の損傷が著しい場合、発注者と協議の上対策を講じること。
 - 健全な部分のコンクリートまでは取り除かない様、留意すること。

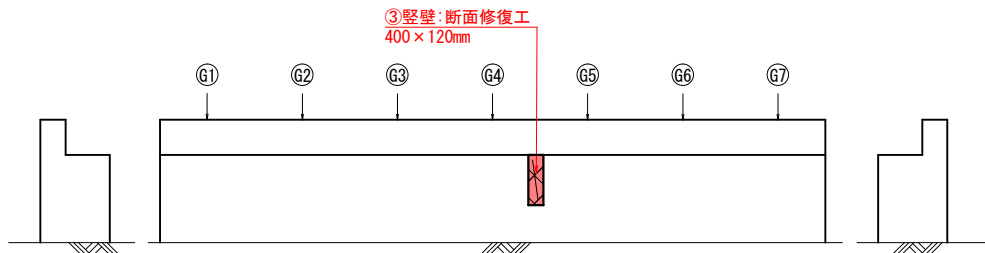
工事番号	号		
路 線 名	町道大原北新丁線		
施工地名	亶理市	亶理町逢隈牛袋 地内	
工 事 名	令和6年度(道補)町道亶理市吉田線下浜街道橋外構梁補修工事		
図 面 名	新丁北橋 上部工補修図		
縮 尺	図 示	位置	
設 計 者		設計年度	
亶 理 町		図番	

新丁北橋 下部工補修図

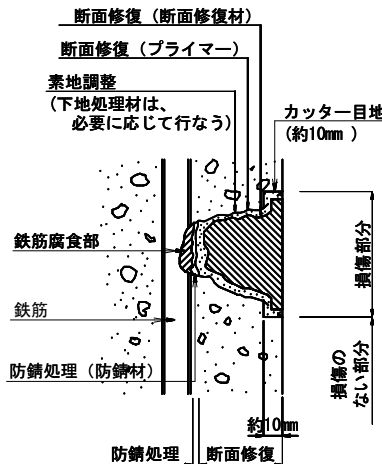
A1橋台 S=1:30



A2橋台 S=1:30

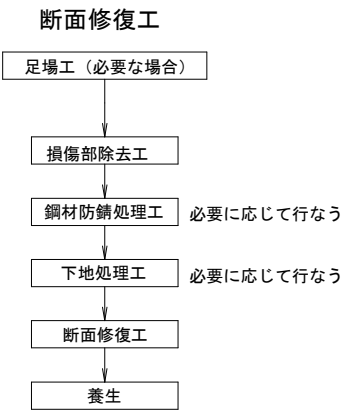


断面修復工詳細図 (参考図)



※塗装は必要に応じて行う。
※防錆処理は必要に応じて行う。

施工手順フロー



断面修復工数量表

※修復深さは5cmを目安とする。

位 置	単 位	数量計算	数 量	摘 要
A1橋台	(1)	m3	$0.40 \times 0.12 \times 0.05$	= 0.003
	(2)	m3	$0.70 \times 0.25 \times 0.05$	= 0.009
A2橋台	(3)	m3	$0.40 \times 0.12 \times 0.05$	= 0.003
合 計	m3		=	0.015

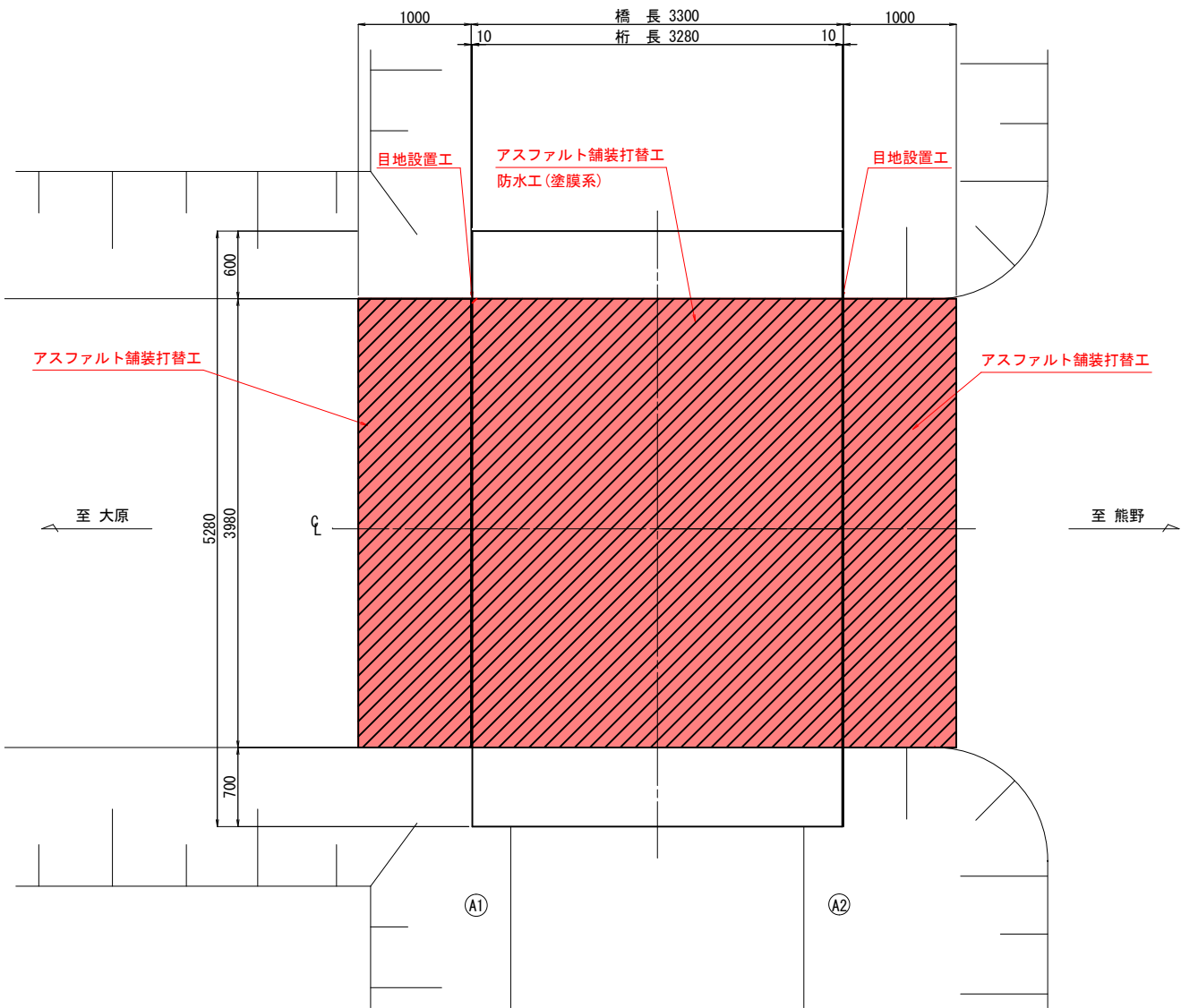
実 施

- 注)
- 本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
 - 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認の上施工すること。
 - 鉄筋の損傷が著しい場合、発注者と協議の上対策を講じること。
 - 健全な部分のコンクリートまではつり取らない様、留意すること。

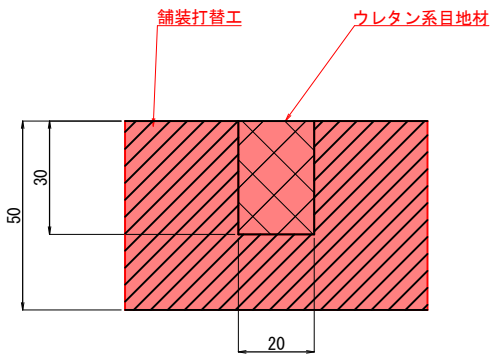
工事番号	号		
路線名	町道大原北新丁線		
施工地名	亘理市	亘理町逢隈牛袋	地内
工事名	令和6年度(道補)町道亘理浜吉田線下浜街道橋外構梁補修工事		
図面名	新丁北橋 下部工補修図		
縮 尺	図 示	位置	
設計者		設計年度	
亘 理 町	図番		

新丁北橋 床版防水・再舗装工図

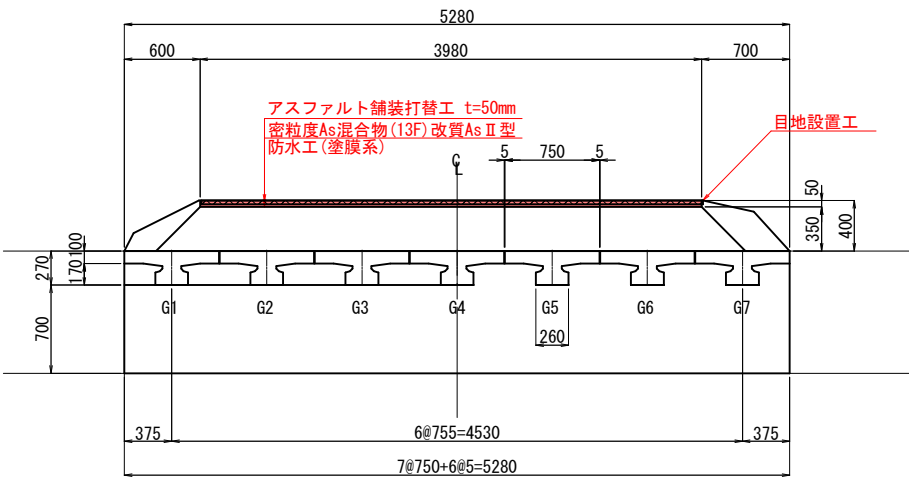
平面図 S=1:30



目地設置工詳細図 S=1:1

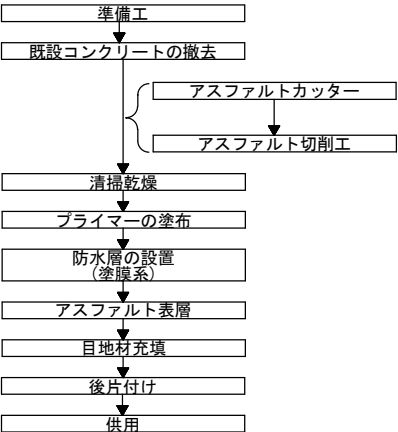


断面図 S=1:30



施工順序

(床版防水工)



床版防水工数量表

項	目	単位	数	量	摘	要
防水層	塗膜系	m ²	13.1			

舗装工数量表

項	目	単位	数	量	摘	要
舗装版撤去	路面切削工	t=50mm m ²	21.0		アスファルト	
	産廃運搬工	m ³	1.1			
	産廃処理工	m ³	1.1			
舗装版新設	表層工	t=50mm m ²	21.0		密粒度As混合物(13F)改質Ⅱ型	

目地設置工数量表

項	目	単位	数	量	摘	要
目地設置工		m	8.0			
目地材	ウレタン系目地材	kg	5.9			

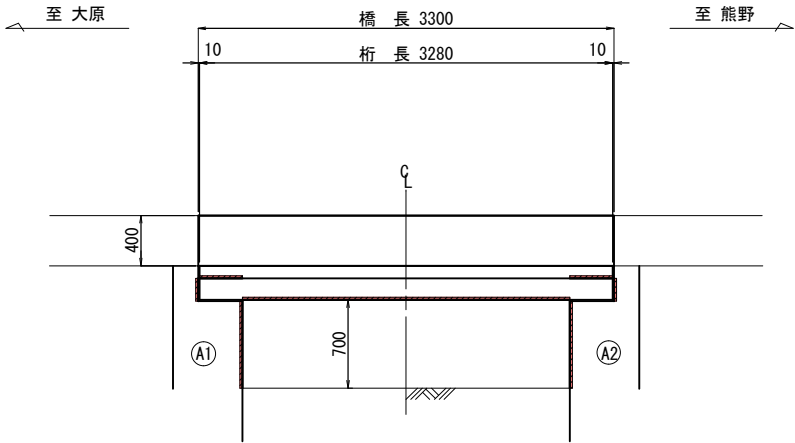
実施

- 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
- 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。
- プライマー塗布は、床版防水工のみ実施すること。

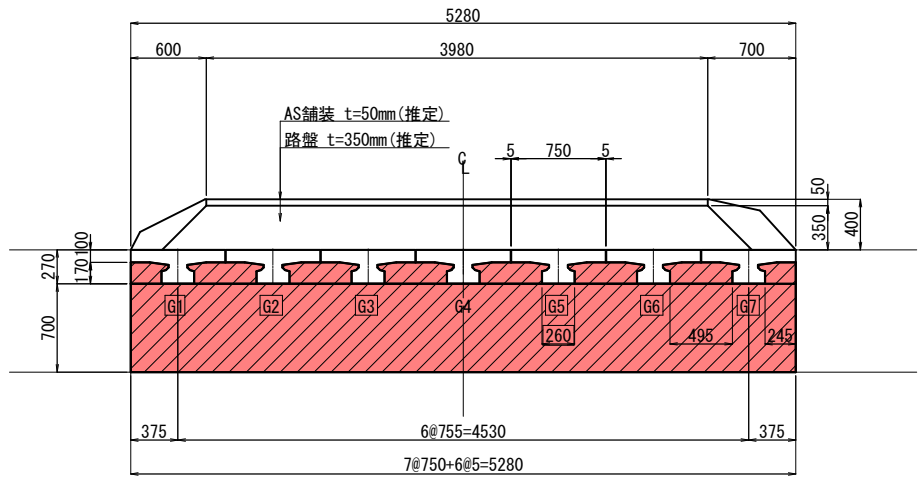
工事番号	号		
路線名	町道大原北新丁線		
施工地名	亶理市	亶理町逢隈牛袋 地内	
工事名	令和年度(道補)町道亶理市吉田線下浜街道橋外構梁修繕工事		
図面名	新丁北橋 床版防水・再舗装工図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
亶理町	図番		

新丁北橋 表面含浸工補修図

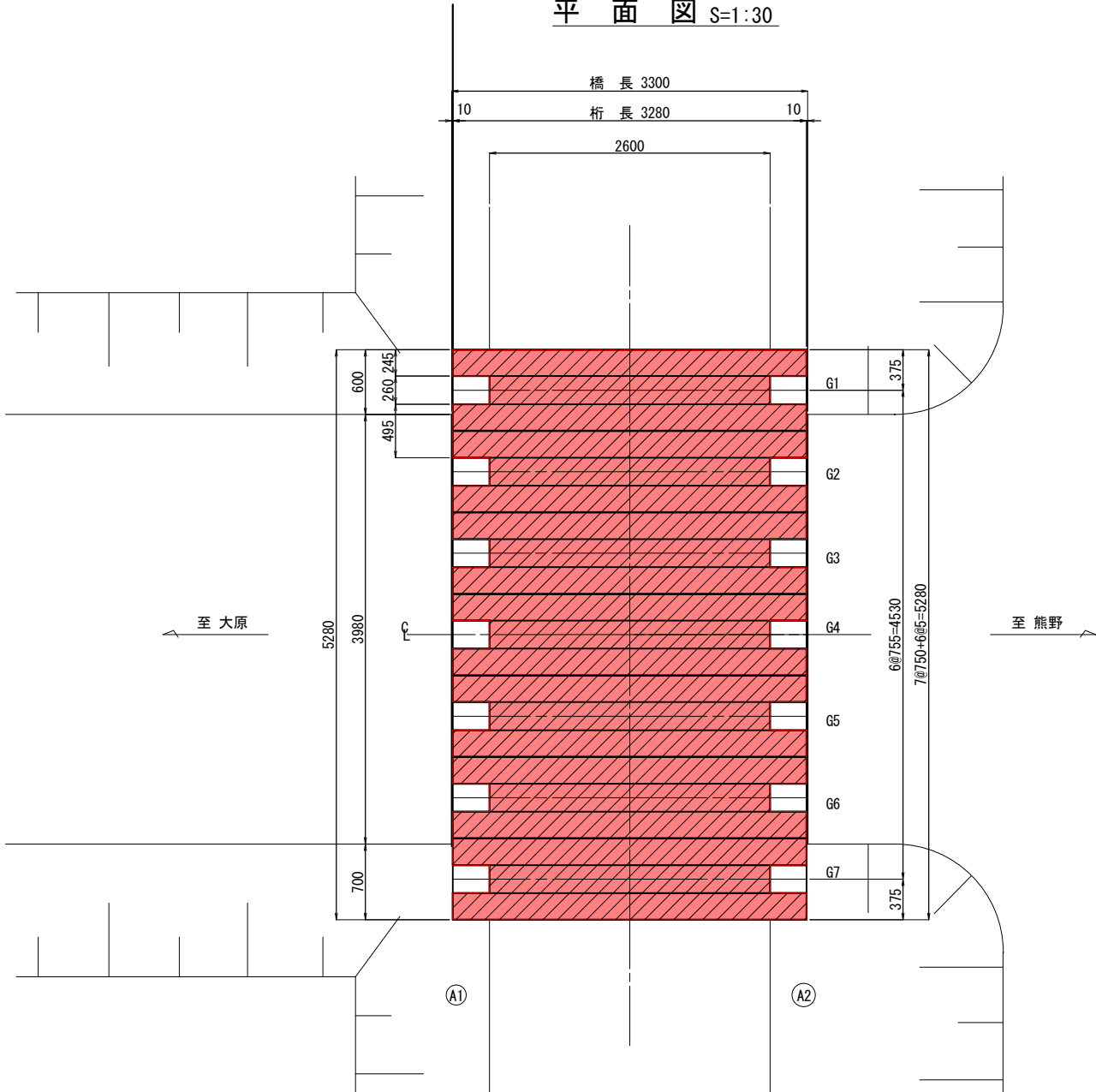
側面図 S=1:30



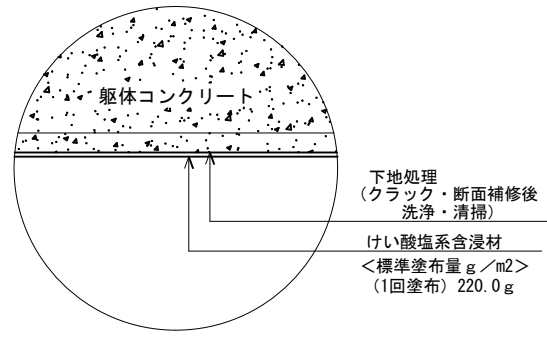
断面図 S=1:30



平面図 S=1:30



表面含浸工詳細図

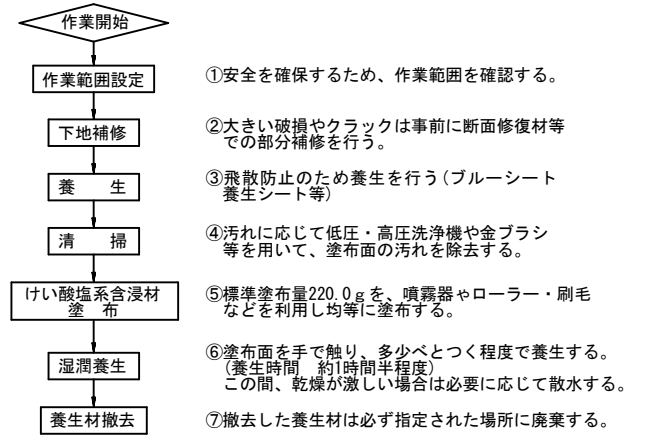


1.0㎡あたりの施工塗布量	単位 (g)
標準塗布量	220.0

項目	目標値
性状	5~150nmのポリシリケートおよび粒子コロイド
主成分	けい酸ナトリウム・けい酸カリウム
水酸化カルシウムとの反応	有
乾燥固形分率	12%以上
種類	反応型けい酸塩系表面含浸材
密度	1.05以上
pH値	11.0以上
色	無色

表面含浸工範囲
但し、桁下、縦壁の狭隙部は通常の施工が可能な範囲とする。

―〔けい酸塩系含浸材の施工要領〕―



【備考】
・けい酸塩系含浸材がガラス等に付着すると除去が困難なため、飛散防止の対策が必要。
・湿润養生はけい酸塩系含浸材塗布後、90分程度べとつく程度の状態を確保する為水を散布。
・けい酸塩系含浸材の塗布量は厳密に行う事。
(事前に図面等で材料の塗布量を確認し、現場においてマーキング等を行い管理する。)
・本材料は成分が沈殿する場合があるので、利用前には十分に攪拌する事。
・下地洗浄には、酸性の薬剤及び水は利用しない事。(中和反応するため)

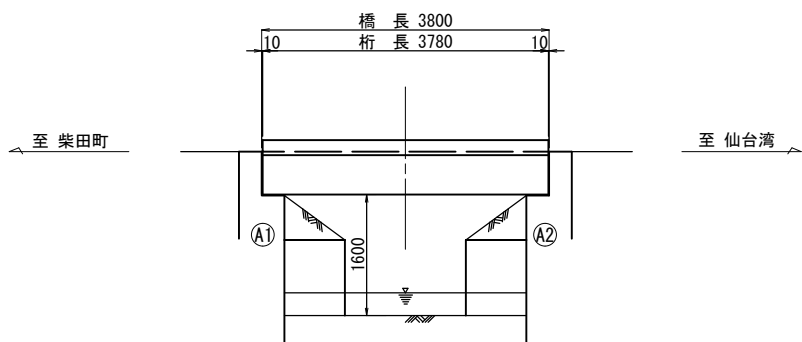
実施

1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
2. 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。

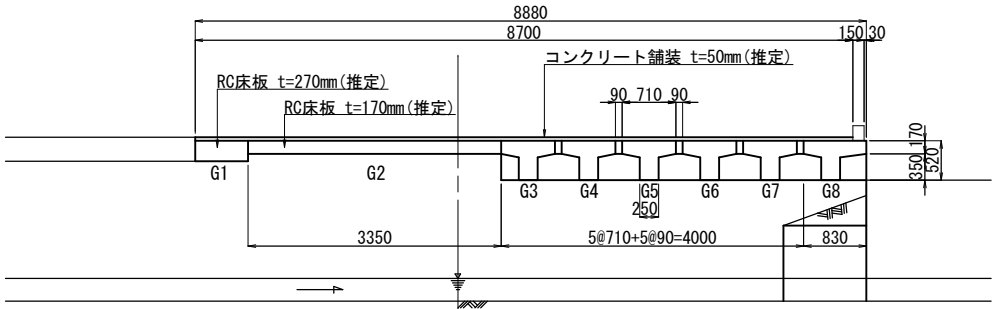
工事番号	号
路線名	町道大原北新丁線
施工地名	亶理市 亶理町逢隈牛袋 地内
工事名	令和年度(道補)町道亶理市吉田線下浜街道橋外橋梁修繕工事
図面名	新丁北橋 表面含浸工補修図
縮尺	図示 位置
設計者	設計 年度
亶理町	図番

無名橋20 現況一般図

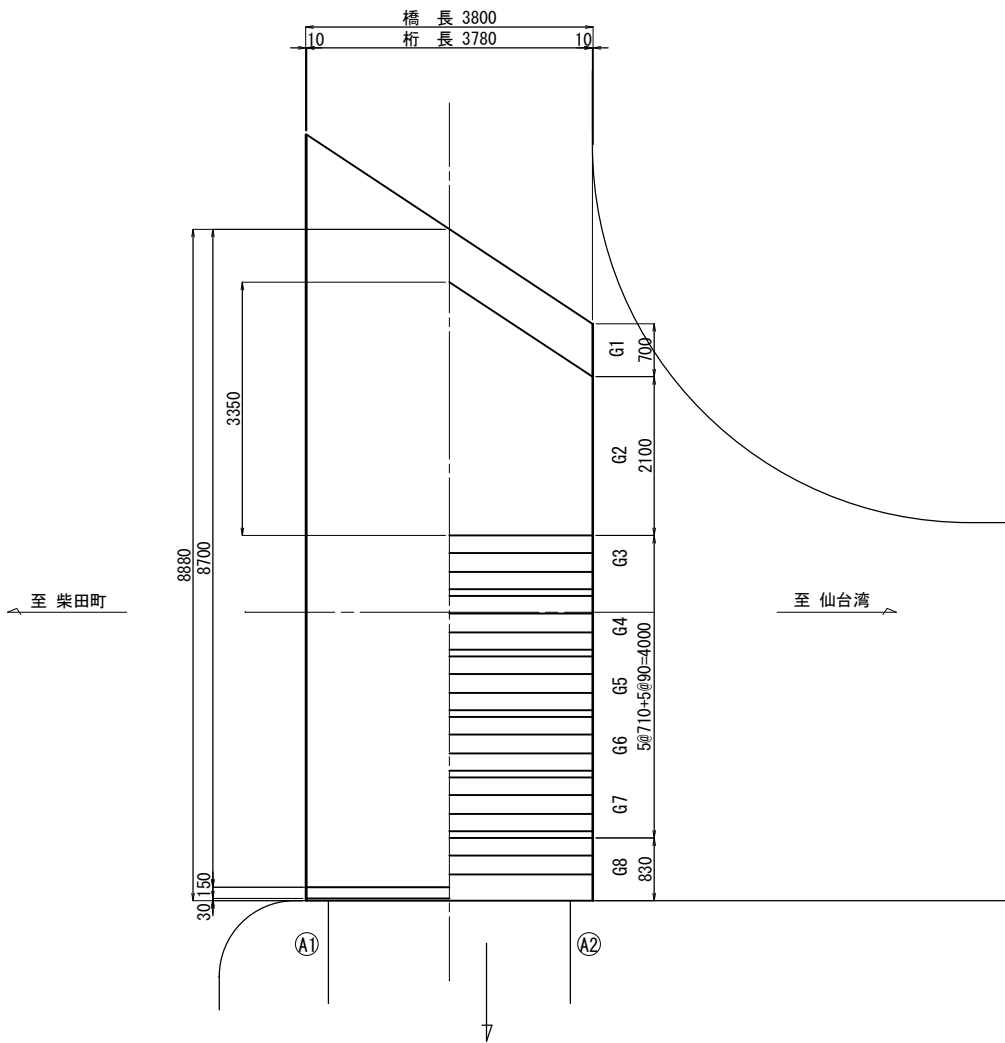
側面図 S=1:50



断面図 S=1:100



平面図 S=1:50



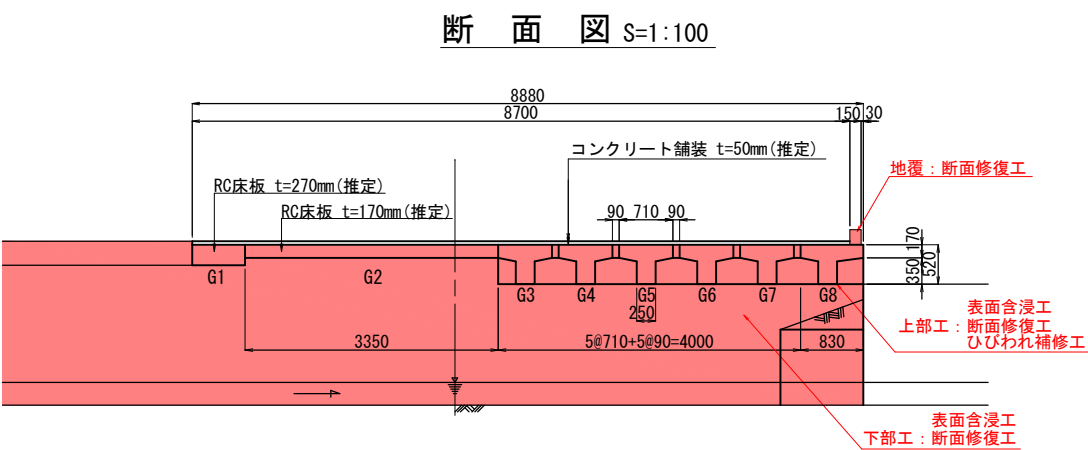
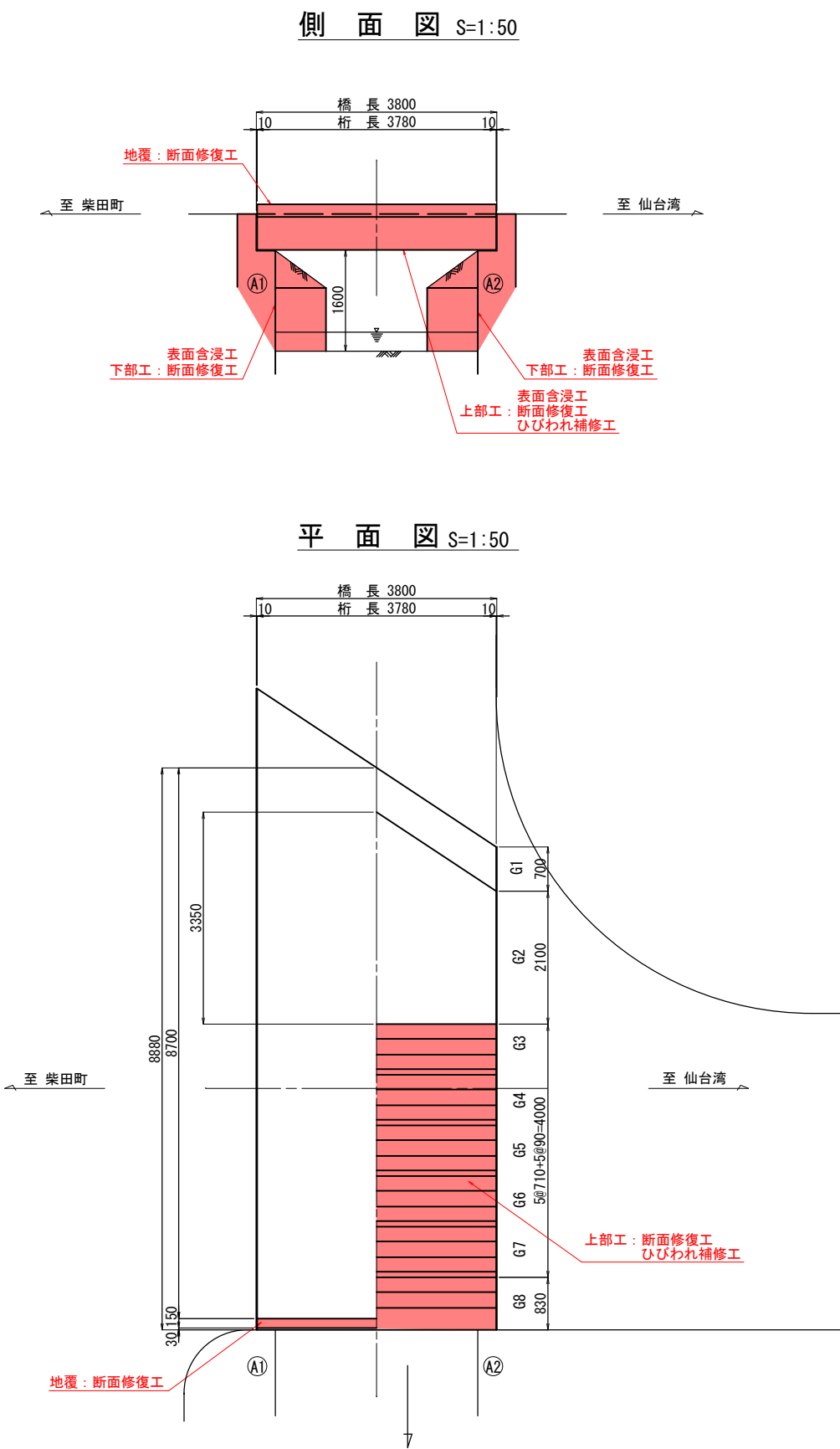
設計条件	
橋種	コンクリート橋
交差条件	水路
型式	プレテンT桁橋+床版橋
橋長	3.800m
幅員	8.880m(有効8.700m)
斜角	90°
活荷重	不明
添架物	-
躯体形式	橋台
橋脚	-
基礎形式	橋台
橋脚	-
適用示方書	昭和39年道示
竣工年	昭和41年

実施

工事番号	号		
路線名	町道高原明神西線		
施工地名	亶理市	亶理町荒浜字明神 地内	
工事名	令和6年度(道補)町道亶理浜吉田線下浜街道橋外構梁修繕工事		
図面名	無名橋20 現況一般図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
亶理町		図番	

1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
2. 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。

無名橋20 補修一般図



補修・補強項目一覧表

工 種	部 位	備 考
上部工補修工	主桁, 横桁	
下部工補修工	A1, A2	
地覆補修工	地覆	
表面含浸工	主桁, 縦壁, 側壁	

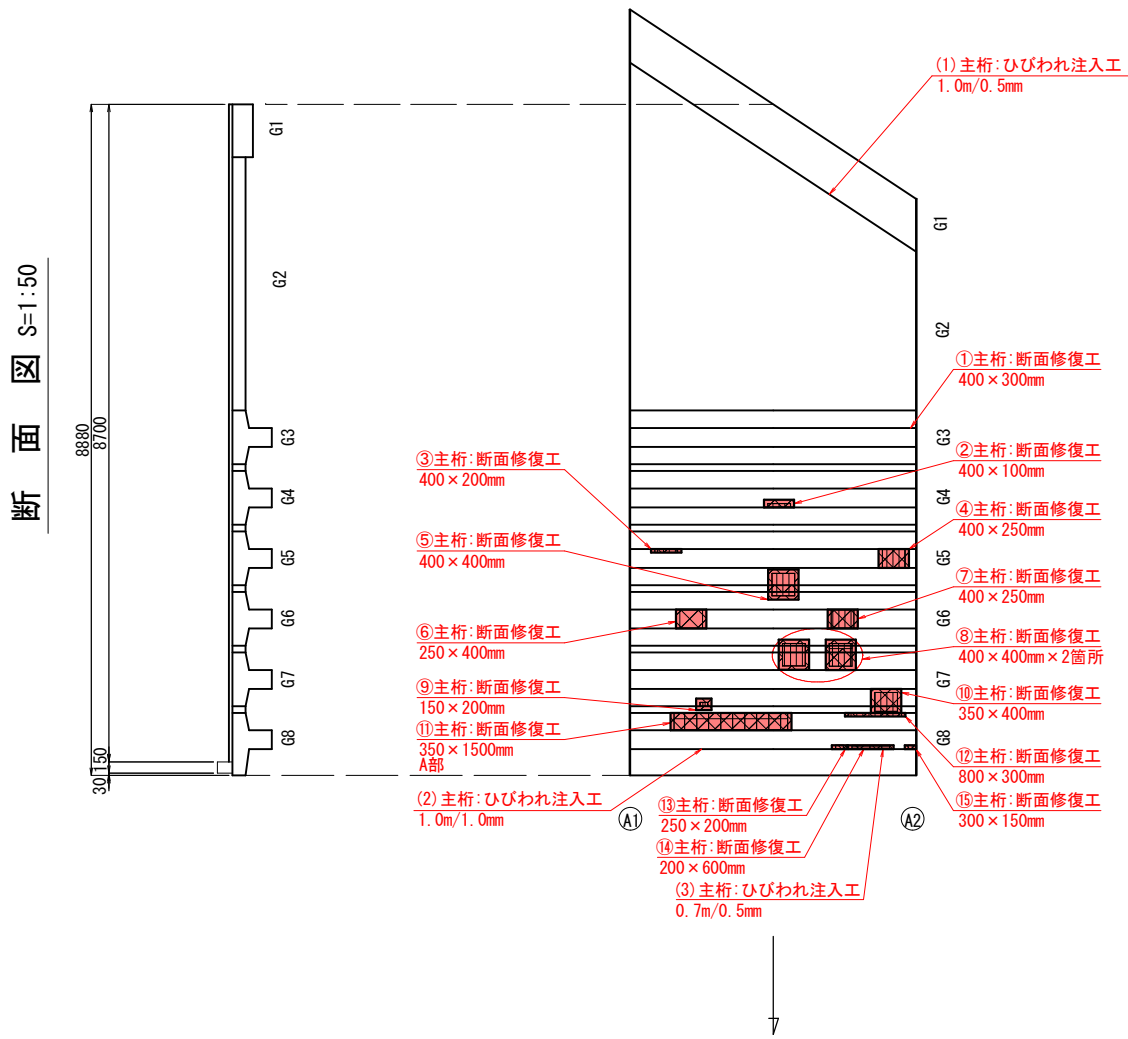
実 施

- 注)
- 本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
 - 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認の上施工すること。
 - 鉄筋の損傷が著しい場合、発注者と協議の上対策を講じること。
 - 健全な部分のコンクリートまではつり取らない様、留意すること。

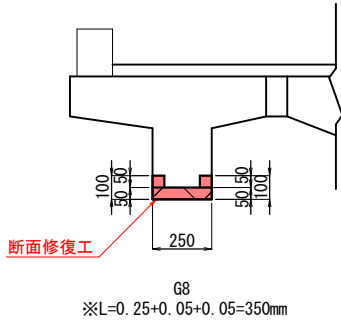
工事番号	号	
路 線 名	町道高原明神西線	
施工地名	亶理市	亶理町荒浜字明神 地内
工 事 名	令和6年度(道補)町道亶理浜吉田線下浜街道橋外構梁修繕工事	
図 面 名	無名橋20 補修一般図	
縮 尺	図 示	位置
設 計 者		設計年度
亶 理 町		図番

無名橋20 上部工補修図

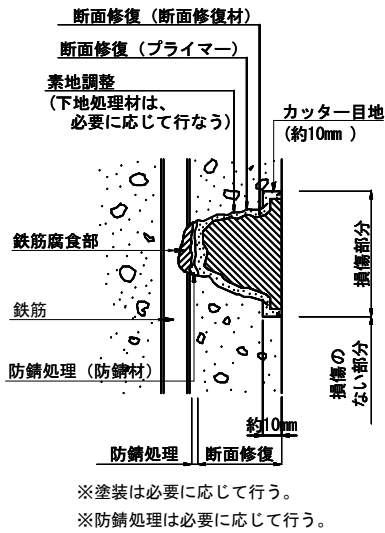
桁 下 面 S=1:50



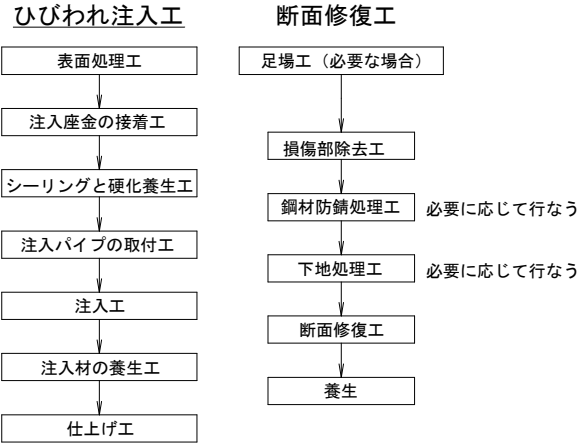
A部 S=1:16



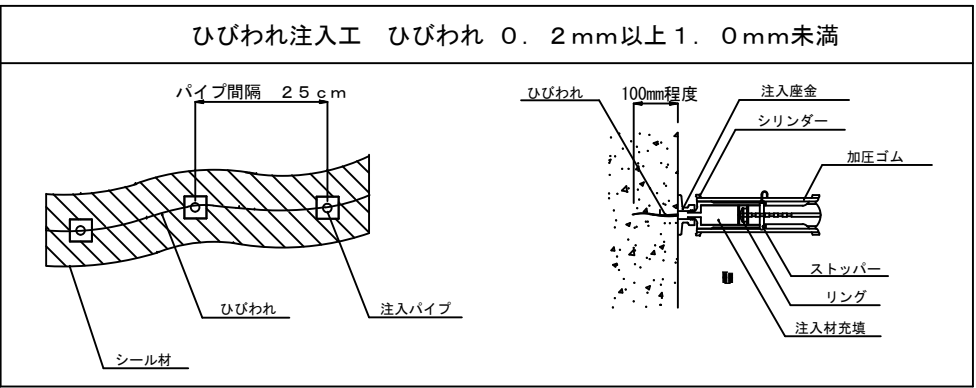
断面修復工詳細図 (参考図)



施工手順フロー



ひびわれ補修工詳細図 (参考図)



断面修復工数量表

※修復深さは5cmを目安とする。

位 置	単 位	数量計算	数 量	摘 要
主 桁	①	m3 0.40×0.30×0.05	= 0.006	
	②	m3 0.40×0.10×0.05	= 0.002	
	③	m3 0.40×0.20×0.05	= 0.004	
	④	m3 0.40×0.25×0.05	= 0.005	
	⑤	m3 0.40×0.40×0.05	= 0.008	
	⑥	m3 0.25×0.40×0.05	= 0.005	
	⑦	m3 0.25×0.40×0.05	= 0.005	
	⑧	m3 0.40×0.40×0.05×2箇所	= 0.016	
	⑨	m3 0.20×0.15×0.05	= 0.002	
	⑩	m3 0.35×0.40×0.05	= 0.007	
	⑪	m3 1.50×0.35×0.05	= 0.027	
	⑫	m3 0.80×0.30×0.05	= 0.012	
	⑬	m3 0.25×0.20×0.05	= 0.003	
	⑭	m3 0.20×0.60×0.05	= 0.006	
	⑮	m3 0.30×0.15×0.05	= 0.003	
合 計	m3		= 0.111	

ひび割れ補修工数量表

位 置	単 位	数 量	摘 要
主 桁	(1)	m 1.00	0.50mm
	(2)	m 1.00	1.00mm
	(3)	m 0.70	0.50mm
小 計	m	1.70	0.50mm
	m	1.00	1.00mm
合 計	m	2.70	ひびわれ注入工

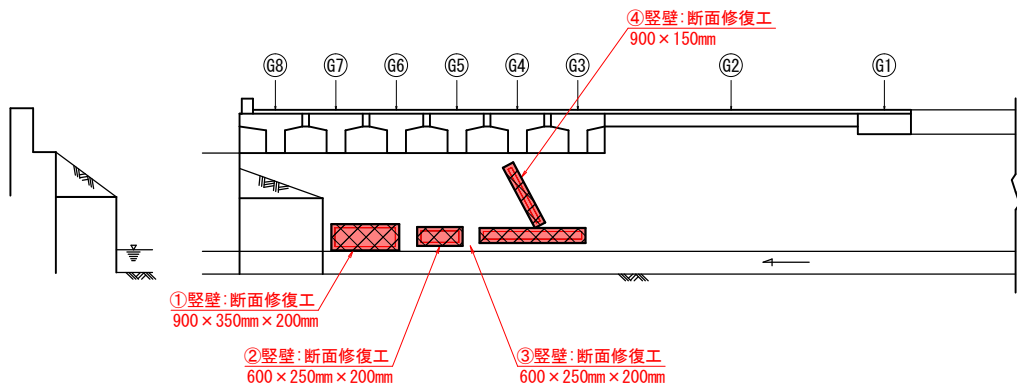
実 施

- 注)
1. 本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
 2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認の上施工すること。
 3. 鉄筋の損傷が著しい場合、発注者と協議の上対策を講じること。
 4. 健全な部分のコンクリートまではつり取らない様、留意すること。

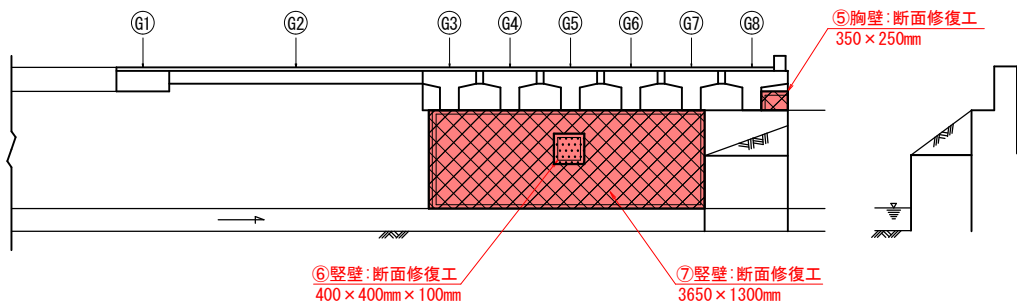
工事番号	号
路 線 名	町道高原明神西線
施工地名	亶理市 亶理町荒浜字明神 地内
工 事 名	令和6年度(道補)町道亶理荒浜字明神下浜街道橋外構梁修繕工事
図 面 名	無名橋20 上部工補修図
縮 尺	図 示 位置
設 計 者	設計 年度
亶 理 町	図 番

無名橋20 下部工補修図

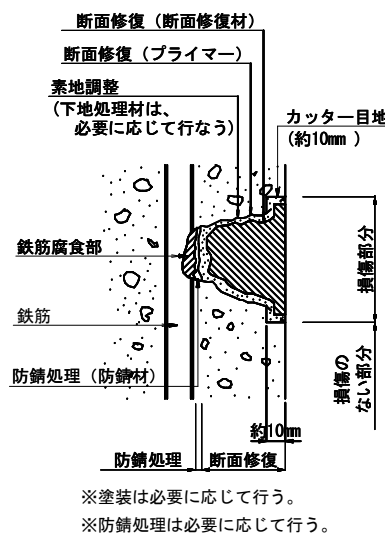
A1橋台 S=1:50



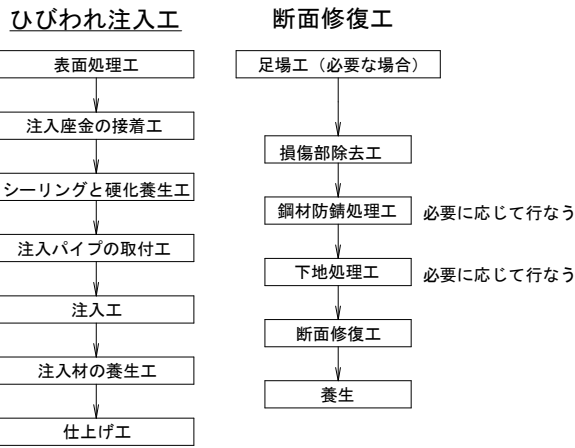
A2橋台 S=1:50



断面修復工詳細図 (参考図)



施工手順フロー



断面修復工数量表

※修復深さは5cmを目安とする。

位 置	単 位	数量計算	数 量	摘 要
A1橋台	①	m3 0.90×0.35×0.20	= 0.063	
	②	m3 0.60×0.25×0.20	= 0.030	
	③	m3 0.60×0.25×0.20	= 0.030	
	④	m3 0.90×0.15×0.05	= 0.007	
A2橋台	⑤	m3 0.35×0.25×0.05	= 0.005	
	⑥	m3 0.40×0.40×0.10	= 0.016	
	⑦	m3 3.65×1.30×0.05	= 0.230	400×400mm控除
合 計	m3		= 0.381	

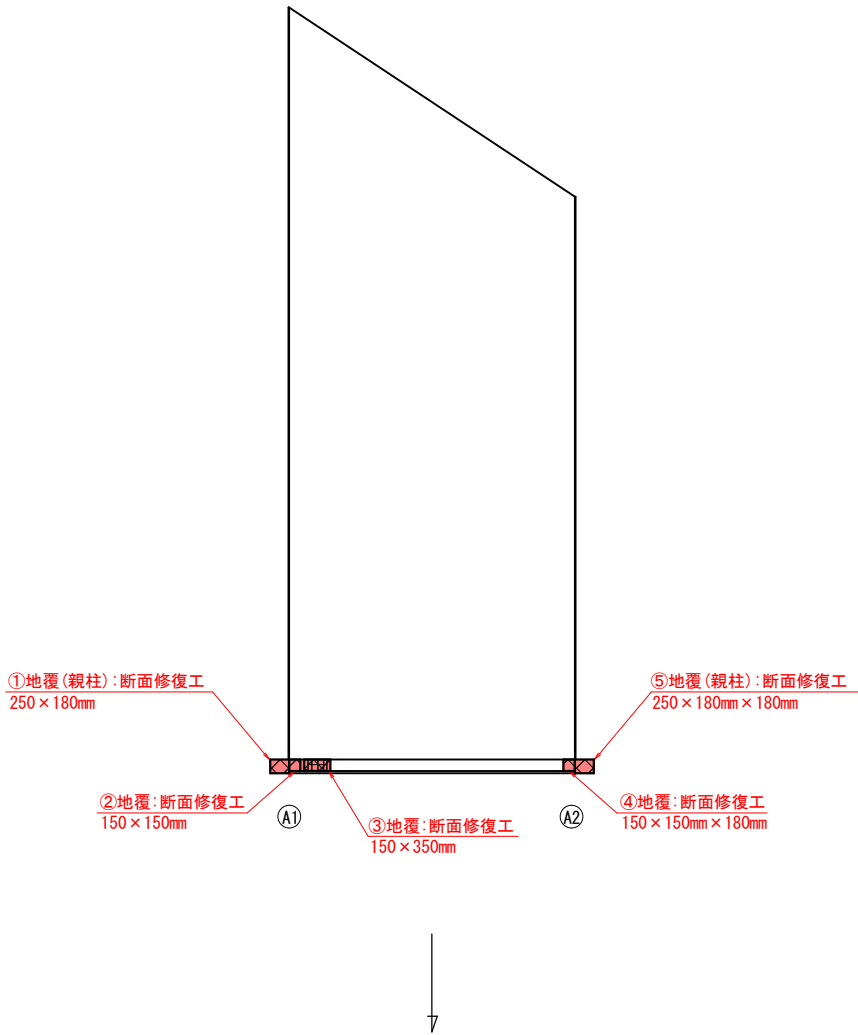
実 施

- 注)
1. 本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
 2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認の上施工すること。
 3. 鉄筋の損傷が著しい場合、発注者と協議の上対策を講じること。
 4. 健全な部分のコンクリートまではつり取らない様、留意すること。

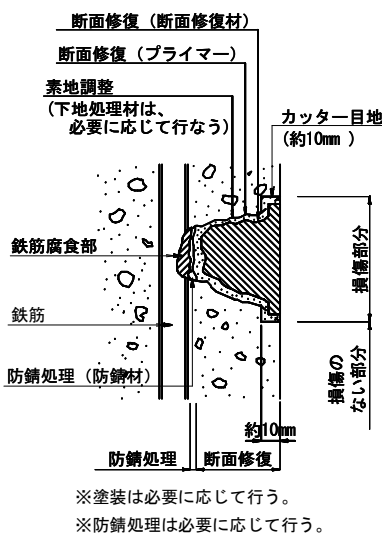
工事番号	号		
路 線 名	町道高原明神西線		
施工地名	亘理市	亘理町荒浜字明神 地内	
工 事 名	令和6年度(道補)町道亘理浜吉田線下浜街道橋外橋梁修繕工事		
図 面 名	無名橋20 下部工補修図		
縮 尺	図 示	位置	
設 計 者		設計年度	
亘 理 町	図番		

無名橋20 地覆補修図

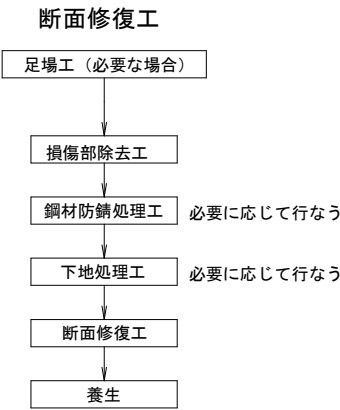
橋 面 S=1:50



断面修復工詳細図 (参考図)



施工手順フロー



断面修復工数量表 ※修復深さは5cmを目安とする。

位 置	単 位	数量計算	数 量	摘 要
地 覆	①	m3 0.25×0.18×0.05	= 0.003	
	②	m3 0.15×0.15×0.05	= 0.002	
	③	m3 0.15×0.35×0.05	= 0.003	
	④	m3 0.15×0.15×0.18	= 0.005	
	⑤	m3 0.25×0.18×0.18	= 0.009	
合 計	m3		= 0.022	

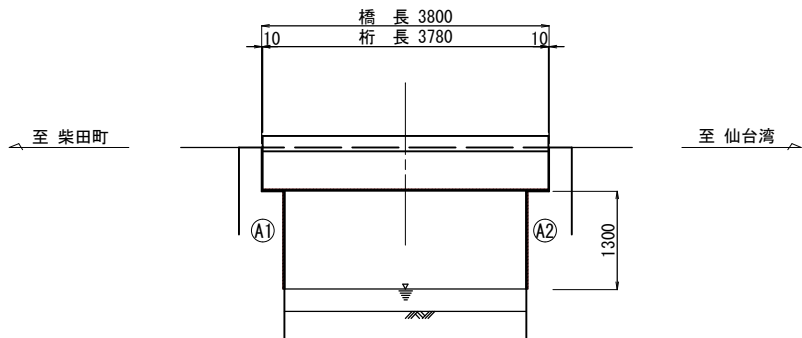
実 施

- 注)
1. 本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
 2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認の上施工すること。
 3. 鉄筋の損傷が著しい場合、発注者と協議の上対策を講じること。
 4. 健全な部分のコンクリートまではつり取らない様、留意すること。

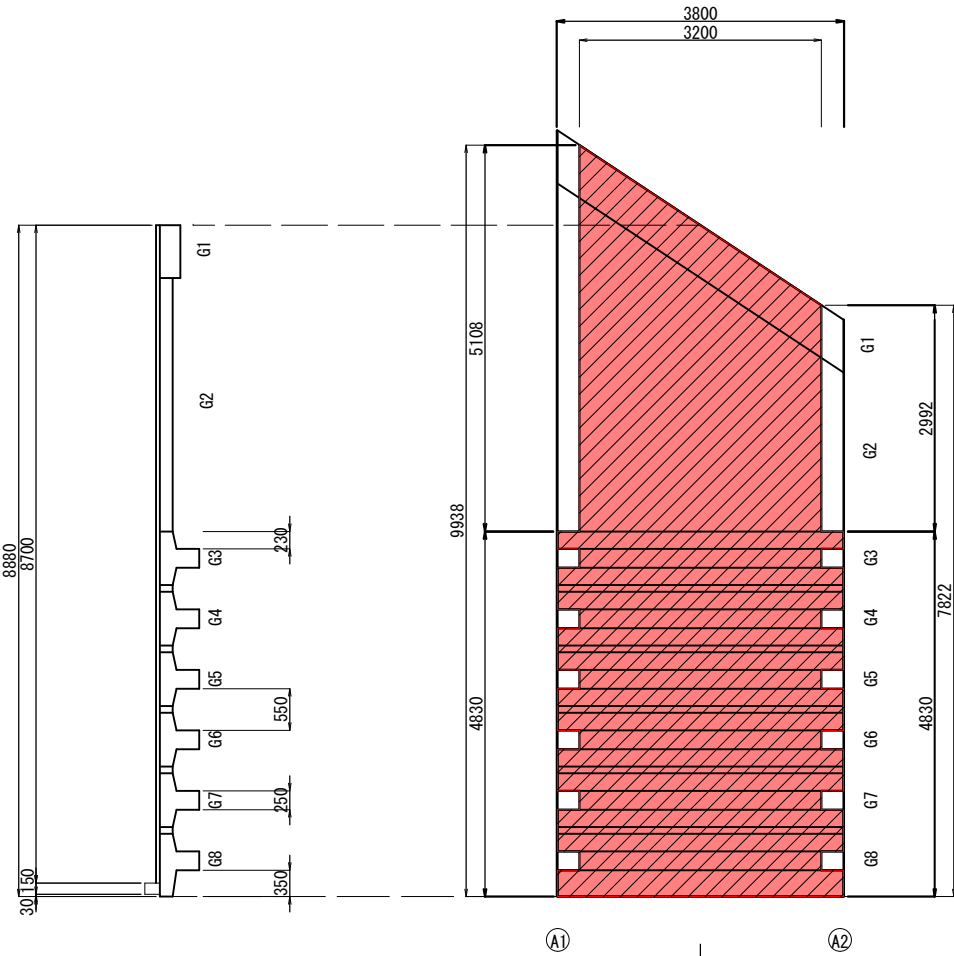
工事番号	号		
路 線 名	町道高原明神西線		
施工地名	亘理市	亘理町荒浜字明神 地内	
工 事 名	令和6年度(道補)町道亘理浜吉田線下浜街道橋外構梁修繕工事		
図 面 名	無名橋20 地覆補修図		
縮 尺	図 示	位置	
設 計 者		設計年度	
亘 理 町	図番		

無名橋20 表面含浸工補修図

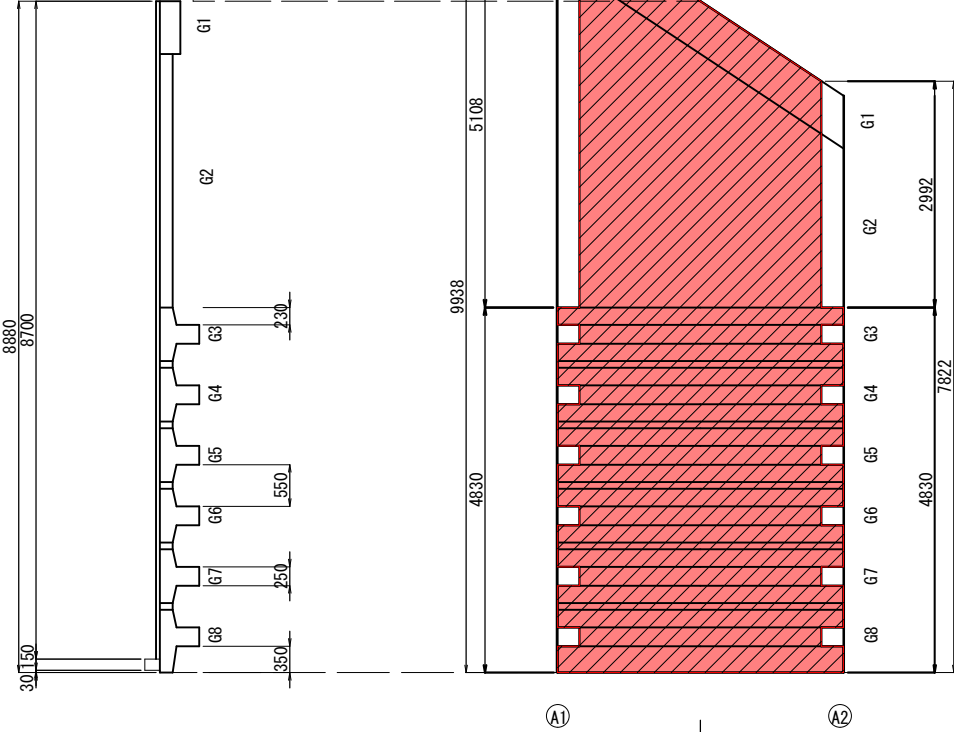
側面図 S=1:50



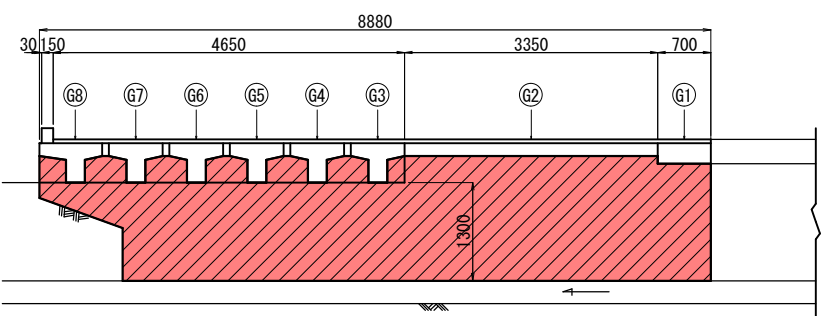
平面図 S=1:50



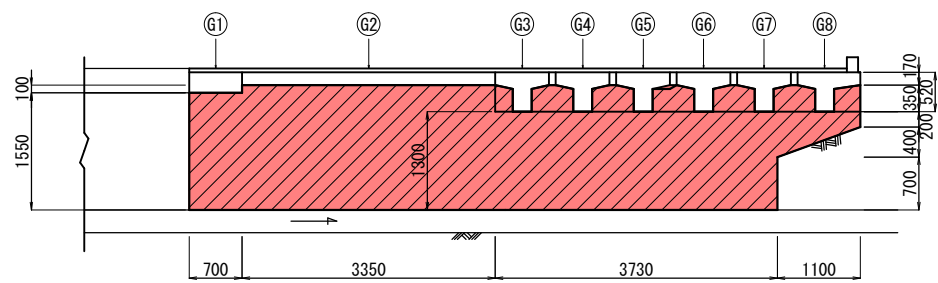
断面図 S=1:50



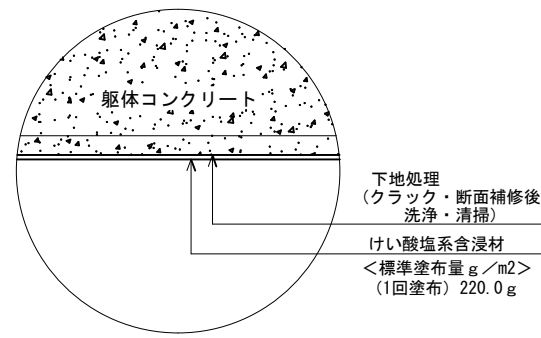
A1橋台 S=1:50



A2橋台 S=1:50



表面含浸工詳細図

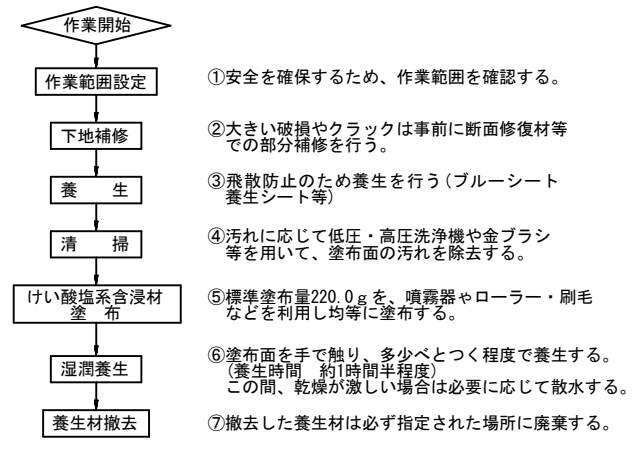


1.0㎡あたりの施工塗布量 単位 (g)	
標準塗布量	けい酸塩系含浸材 220.0

項目	目標値
性状	5~150nmのポリシリケートおよび粒子コロイド
主成分	けい酸ナトリウム・けい酸カリウム
水酸化カルシウムとの反応	有
乾燥固形分率	12%以上
種類	反応型けい酸塩系表面含浸材
密度	1.05以上
pH値	11.0以上
色	無色

表面含浸工範囲
但し、桁下、壁部の狭隙部は通常の施工が可能な範囲とする。

―〔けい酸塩系含浸材の施工要領〕―



【備考】
・けい酸塩系含浸材がガラス等に付着すると除去が困難なため、飛散防止の対策が必要。
・湿潤養生はけい酸塩系含浸材塗布後、90分程度べとつく程度の状態を確保する為水を散布。
・けい酸塩系含浸材の塗布量は厳密に行う事。
(事前に図面等で材料の塗布量を確認し、現場においてマーキング等を行い管理する。)
・本材料は成分が沈殿する場合があるので、使用前には十分に撹拌する事。
・下地洗浄には、酸性の薬剤及び水は利用しない事。(中和反応のため)

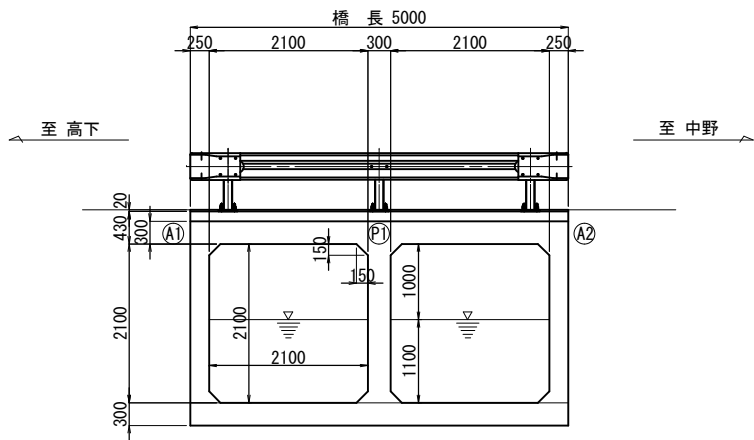
実施

1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
2. 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。

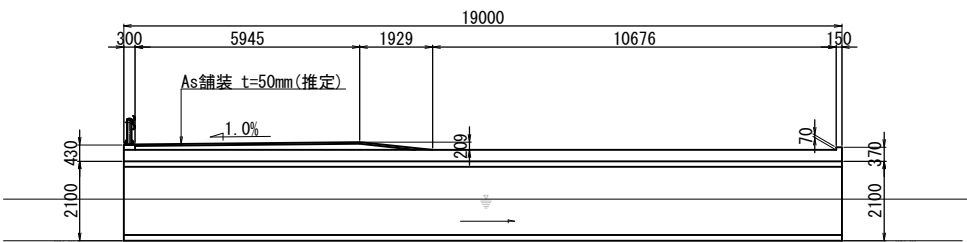
工事番号	号
路線名	町道高原明神西線
施工地名	亶理市 亶理町荒浜字明神 地内
工事名	令和年度(道補)町道亶理浜吉田線下浜街道路外縁梁補修工事
図面名	無名橋20 表面含浸工補修図
縮尺	図示
位置	
設計者	設計年度
亶理町	図番

西木倉橋 現況一般図

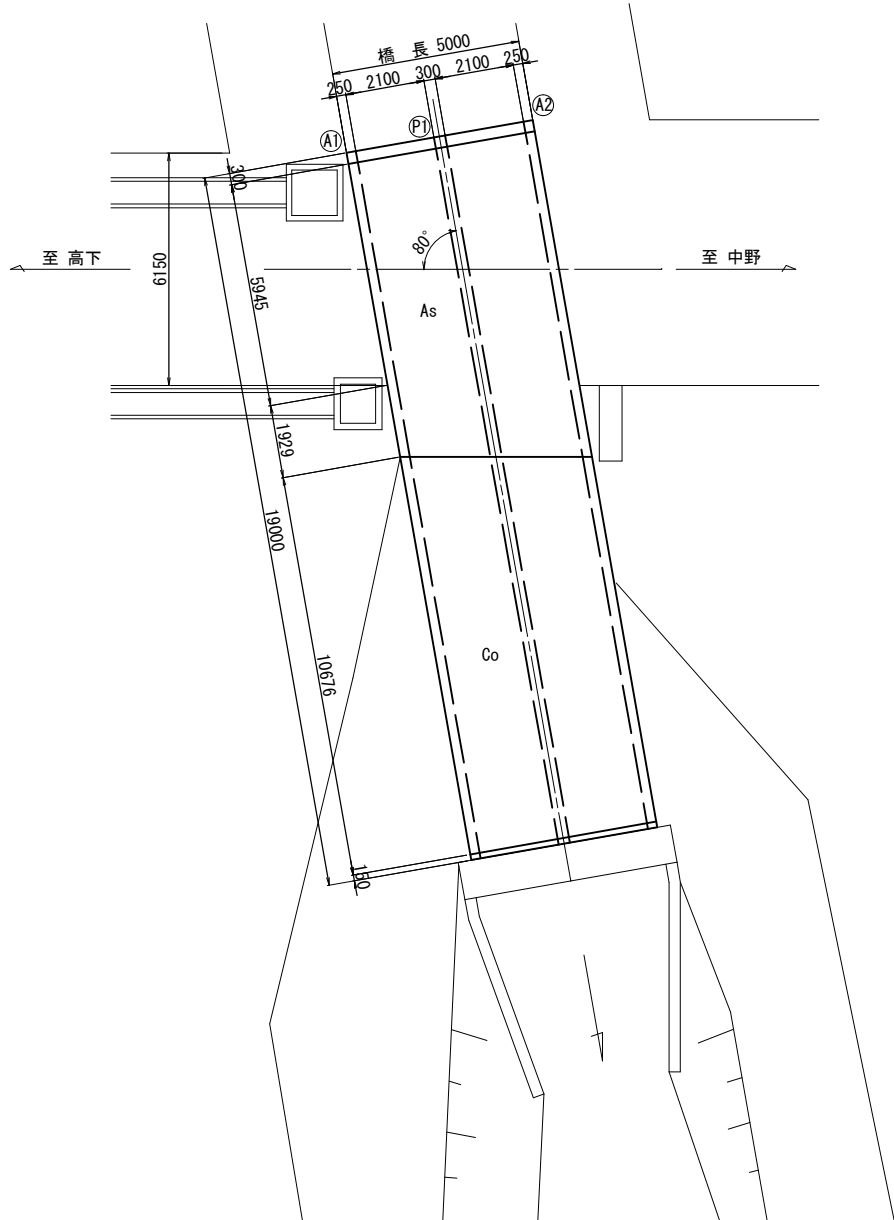
側面図 S=1:30



断面図 S=1:100



平面図 S=1:100



設計条件

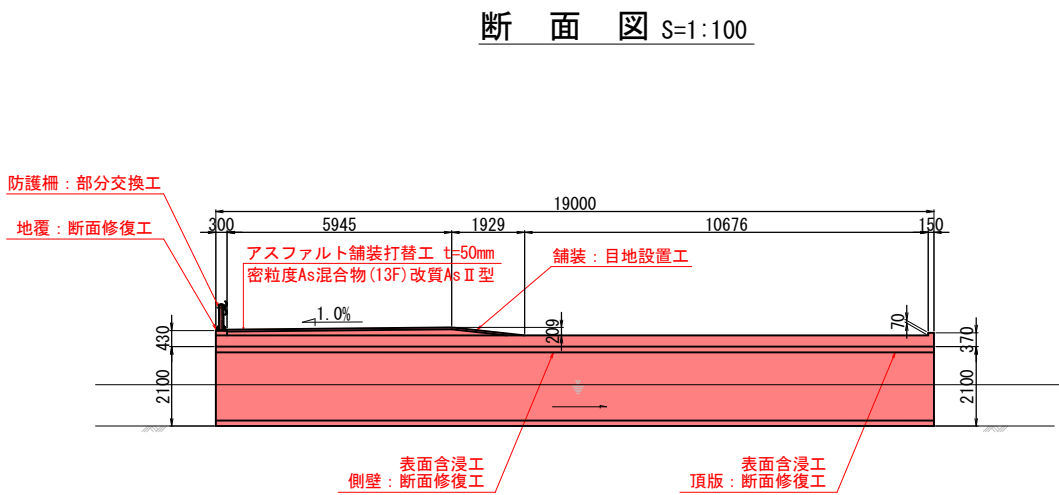
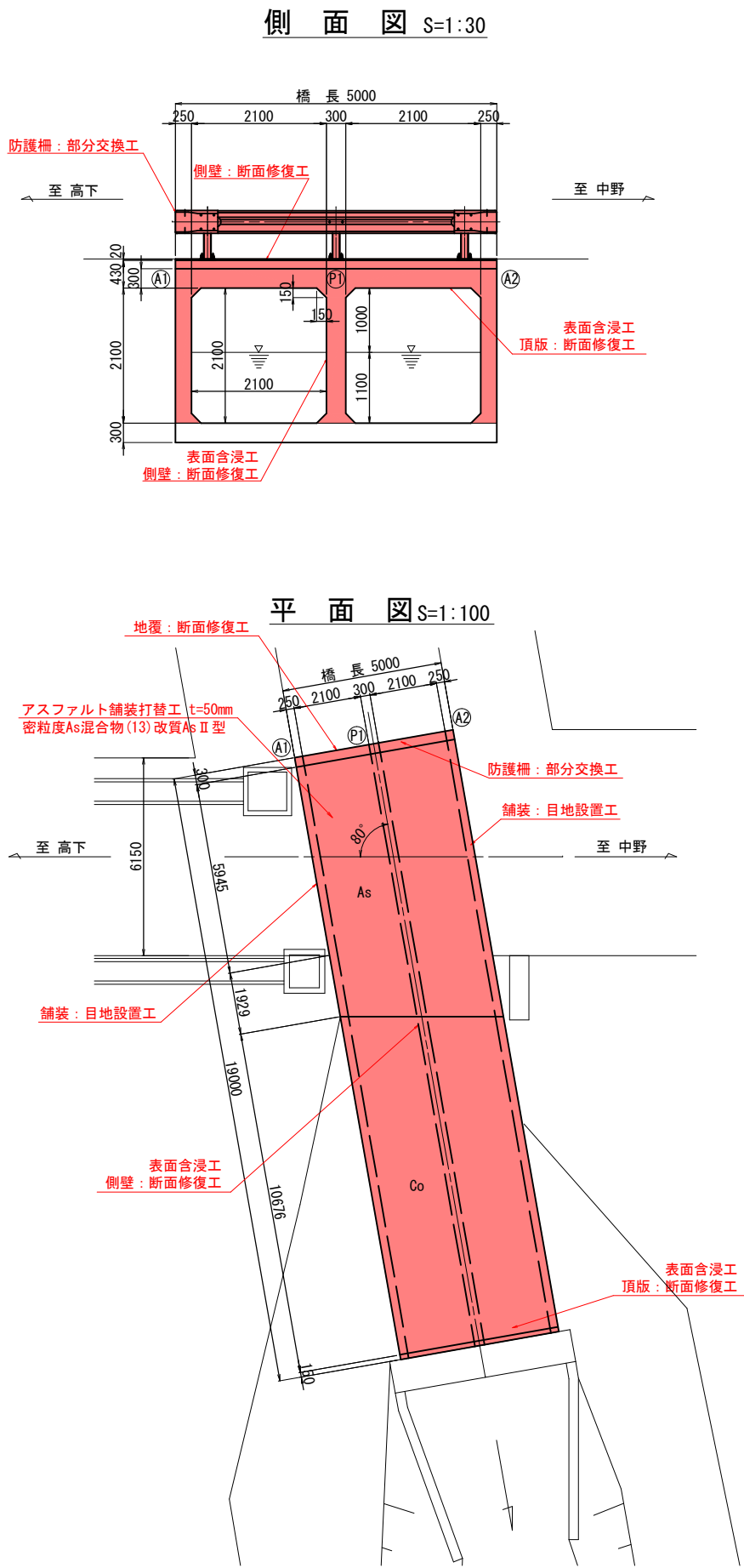
橋種	RC溝橋
交差条件	水路
型式	BOXカルバート
橋長	5.000m
幅員	18.550m(有効5.945m)
斜角	80°
活荷重	不明
添架物	-
躯体形式	橋台
	橋脚
基礎形式	橋台
	橋脚
適用示方書	昭和39年道示
竣工年	昭和41年

実施

工事番号	号	
路線名	町道箱根田線	
施工地名	亘理市	亘理町荒浜字西木倉 地内
工事名	令和6年度(選補)町道亘理浜吉田線下浜街道橋外構梁修繕工事	
図面名	西木倉橋 現況一般図	
縮尺	図示	位置
設計者		設計年度
亘理町	図番	

1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
2. 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。

西木倉橋 補修一般図



補修・補強項目一覧表

工 種	部 位	備 考
舗装打替工	舗装	
目地設置工	舗装	
頂版補修工	頂版	
側壁補修工	P1 (A1)	
地覆補修工	地覆	
防護柵部分交換工	防護柵	
表面含浸工	頂版、側壁	

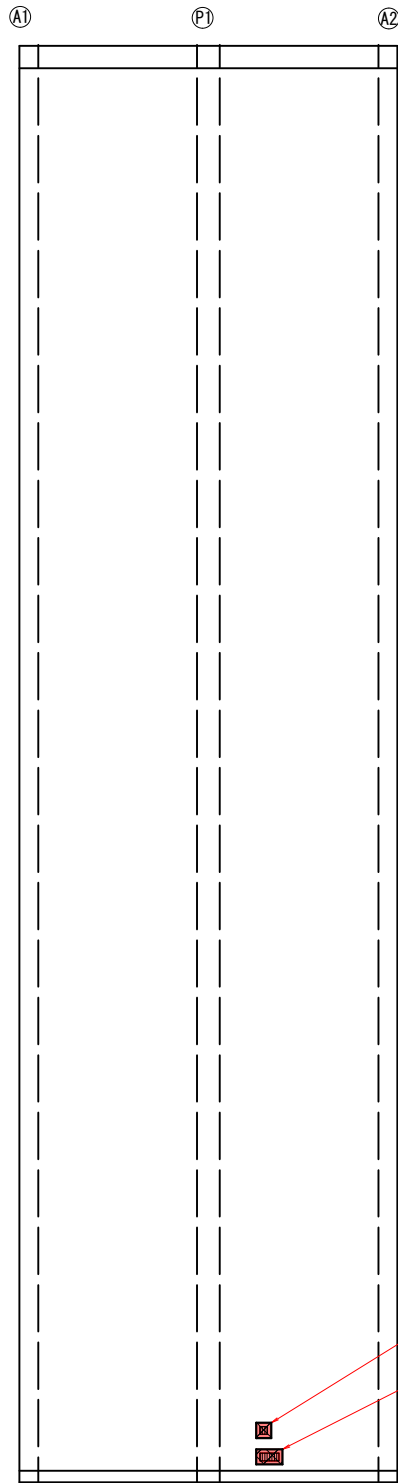
実 施

工事番号	号		
路線名	町道箱根田線		
施工地名	亘理市	亘理町荒浜字西木倉 地内	
工事名	令和6年度(選補)町道亘理荒浜田線下浜街道橋外橋梁修繕工事		
図面名	西木倉橋 補修一般図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
亘理町		図番	

1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
2. 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。

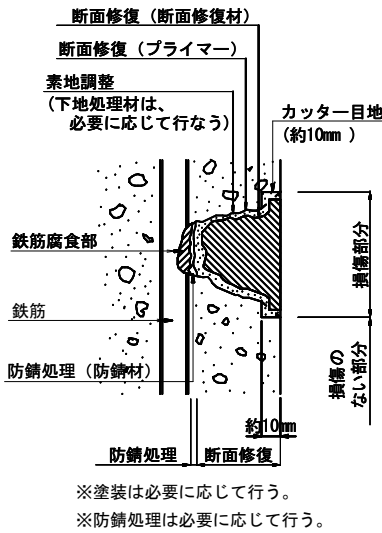
西木倉橋 頂版補修図

頂版 S=1:50

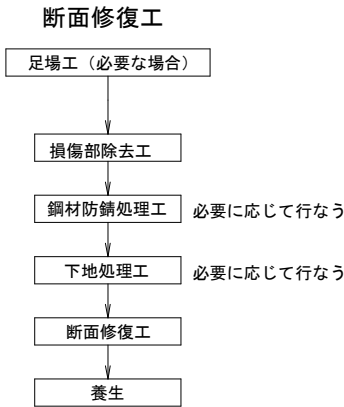


①頂版:断面修復工
200×200mm
②頂版:断面修復工
200×350mm

断面修復工詳細図 (参考図)



施工手順フロー



断面修復工数量表

※修復深さは5cmを目安とする。

位置	単位	数量計算	数量	摘要
頂版	①	m3 0.20×0.20×0.05	= 0.002	
	②	m3 0.20×0.35×0.05	= 0.004	
合計		m3	= 0.006	

実施

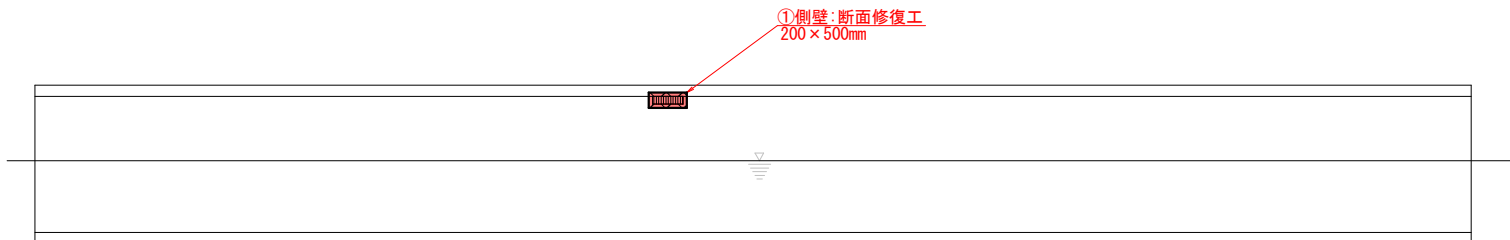
- 注)
- 本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
 - 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認の上施工すること。
 - 鉄筋の損傷が著しい場合、発注者と協議の上対策を講じること。
 - 健全な部分のコンクリートまではつり取らない様、留意すること。

工事番号	号		
路線名	町道箱根田線		
施工地名	亘理市	亘理町荒浜字西木倉 地内	
工事名	令和年度(道補)町道亘理浜吉田線下浜街道橋外橋梁修繕工事		
図面名	西木倉橋 頂版補修図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
亘理町	図番		

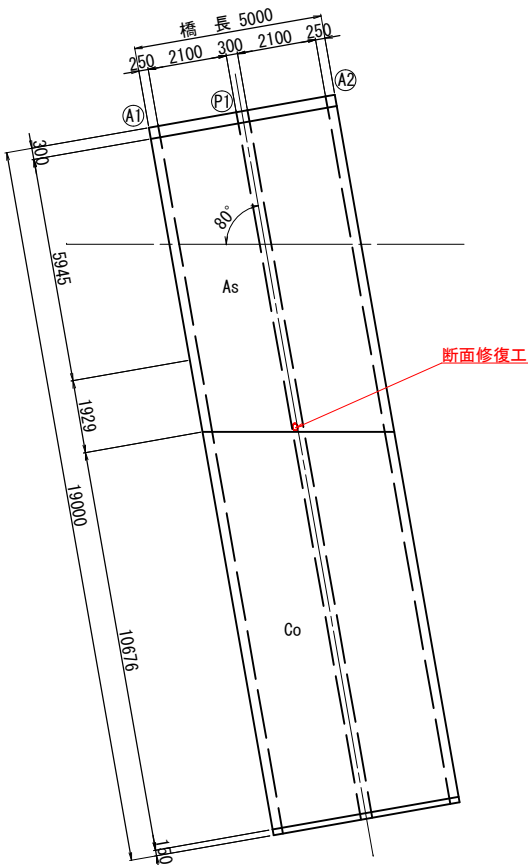
西木倉橋 側壁補修図

側壁 S=1:50

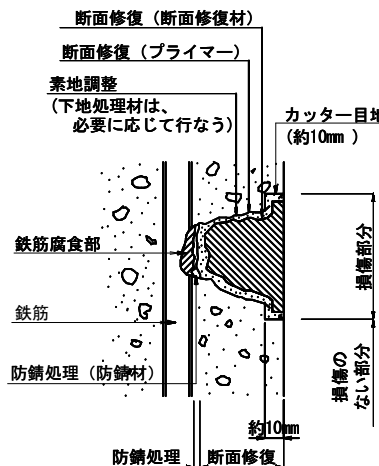
第一径間 左側壁P1 (A1)



位置図

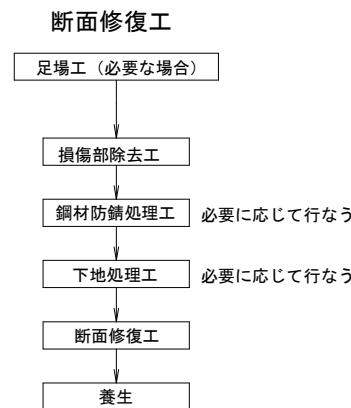


断面修復工詳細図 (参考図)



※塗装は必要に応じて行う。
※防錆処理は必要に応じて行う。

施工手順フロー



断面修復工数量表

※修復深さは5cmを目安とする。

位置	単位	数量計算	数量	摘要
側壁	①	m3	0.20 × 0.50 × 0.05	= 0.005
合計		m3		= 0.005

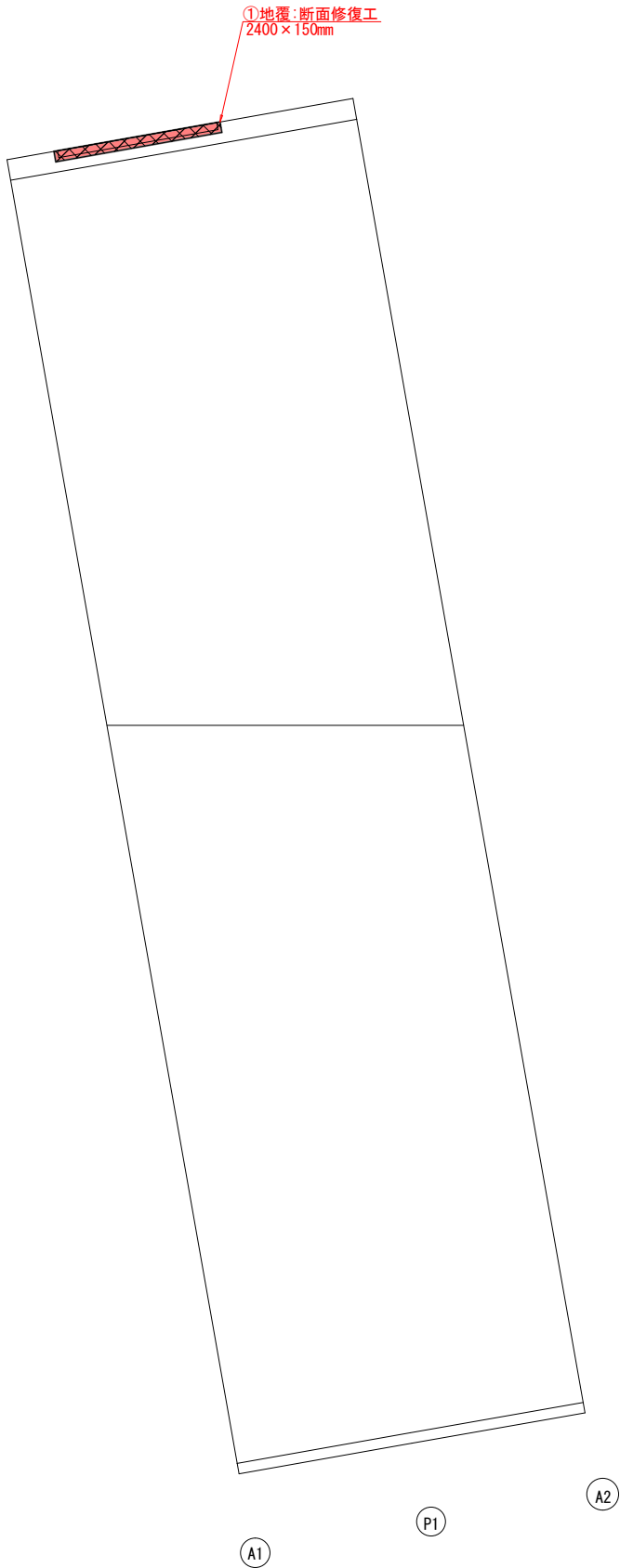
実施

- 注)
- 本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
 - 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認の上施工すること。
 - 鉄筋の損傷が著しい場合、発注者と協議の上対策を講じること。
 - 健全な部分のコンクリートまではつり取らない様、留意すること。

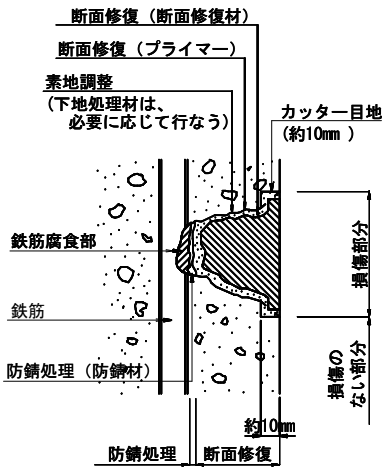
工事番号	号		
路 線 名	町道箱根田線		
施工地名	亘理市	亘理町荒浜字西木倉 地内	
工 事 名	令和6年度(道補)町道亘理浜吉田線下浜街道橋外橋梁修繕工事		
図 面 名	西木倉橋 側壁補修図		
縮 尺	図 示	位置	
設 計 者		設計年度	
亘 理 町	図番		

西木倉橋 地覆補修図

地覆 S=1:50

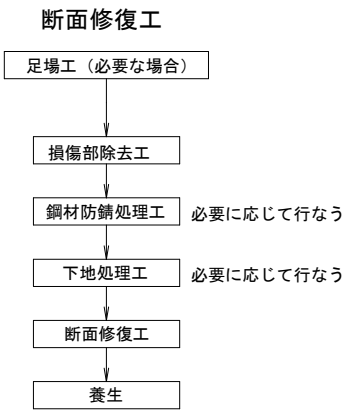


断面修復工詳細図 (参考図)



※塗装は必要に応じて行う。
※防錆処理は必要に応じて行う。

施工手順フロー



断面修復工数量表 ※修復深さは5cmを目安とする。

位 置	単 位	数量計算	数 量	摘 要
地覆 ①	m3	2.40×0.15×0.05	= 0.018	
合 計	m3		= 0.018	

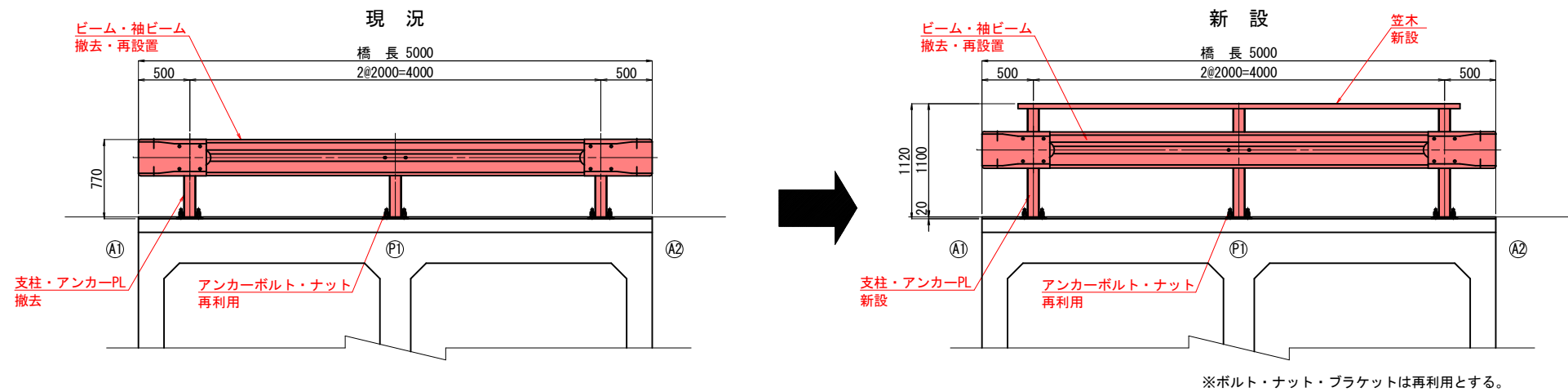
実 施

- 注)
- 本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
 - 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認の上施工すること。
 - 鉄筋の損傷が著しい場合、発注者と協議の上対策を講じること。
 - 健全な部分のコンクリートまではつり取らない様、留意すること。

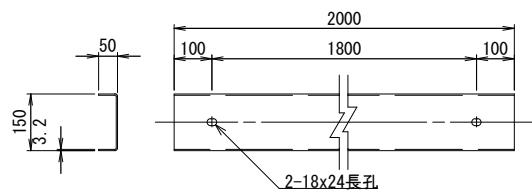
工事番号	号		
路 線 名	町道箱根田線		
施工地名	亘理市	亘理町荒浜字西木倉 地内	
工 事 名	令和年度(道補)町道亘理浜吉田線下浜街道橋外橋梁修繕工事		
図 面 名	西木倉橋 地覆補修図		
縮 尺	図 示	位置	
設 計 者		設計年度	
亘 理 町		図番	

西木倉橋 防護柵部分交換工図

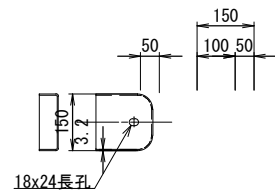
側面図 S=1:30



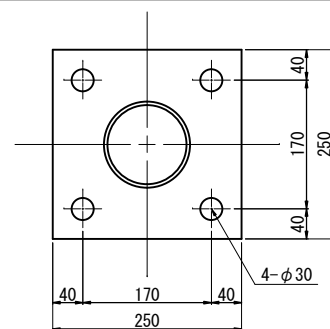
笠木詳細図 S=1:10



端部笠木詳細図 S=1:10



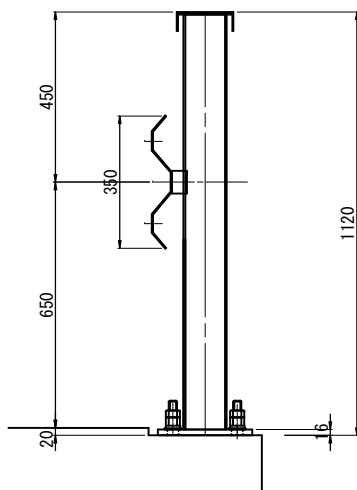
ベースプレート詳細図 S=1:5



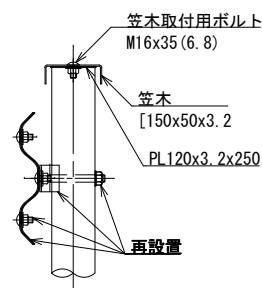
防護柵補修工数量表

種別	規格	単位	数量	備考
新設数量				
支柱	φ114.3×4.5×1104	本	3	ベースプレート付き
笠木	[150×50×3.2	m	4.3	ボルト付き
撤去数量				
支柱	φ114.3×4.5×754	本	3	ベースプレート付き

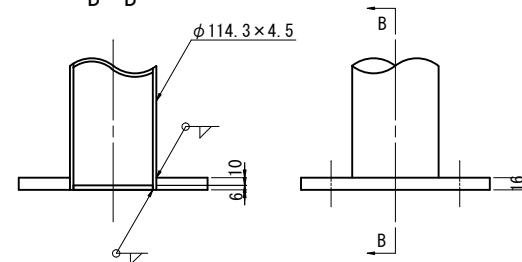
断面図 S=1:10



取付詳細図 S=1:10



B-B

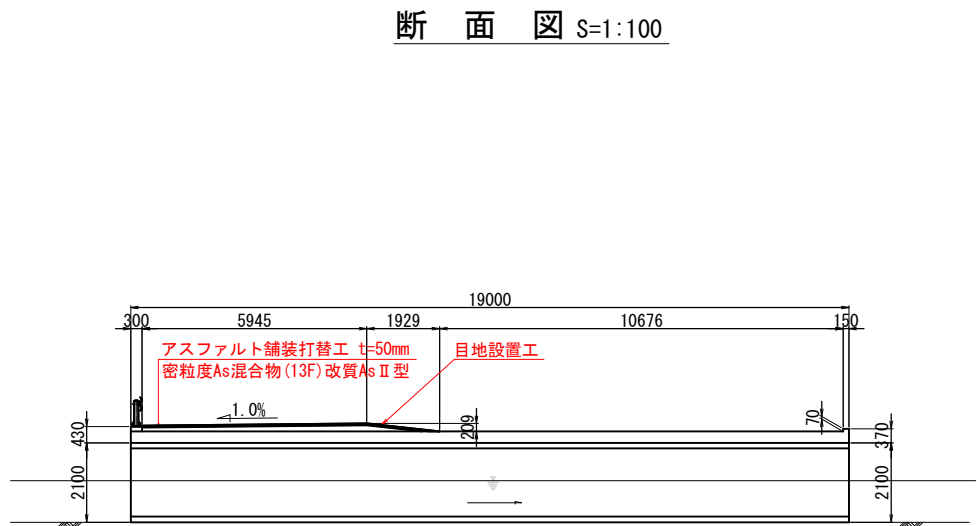
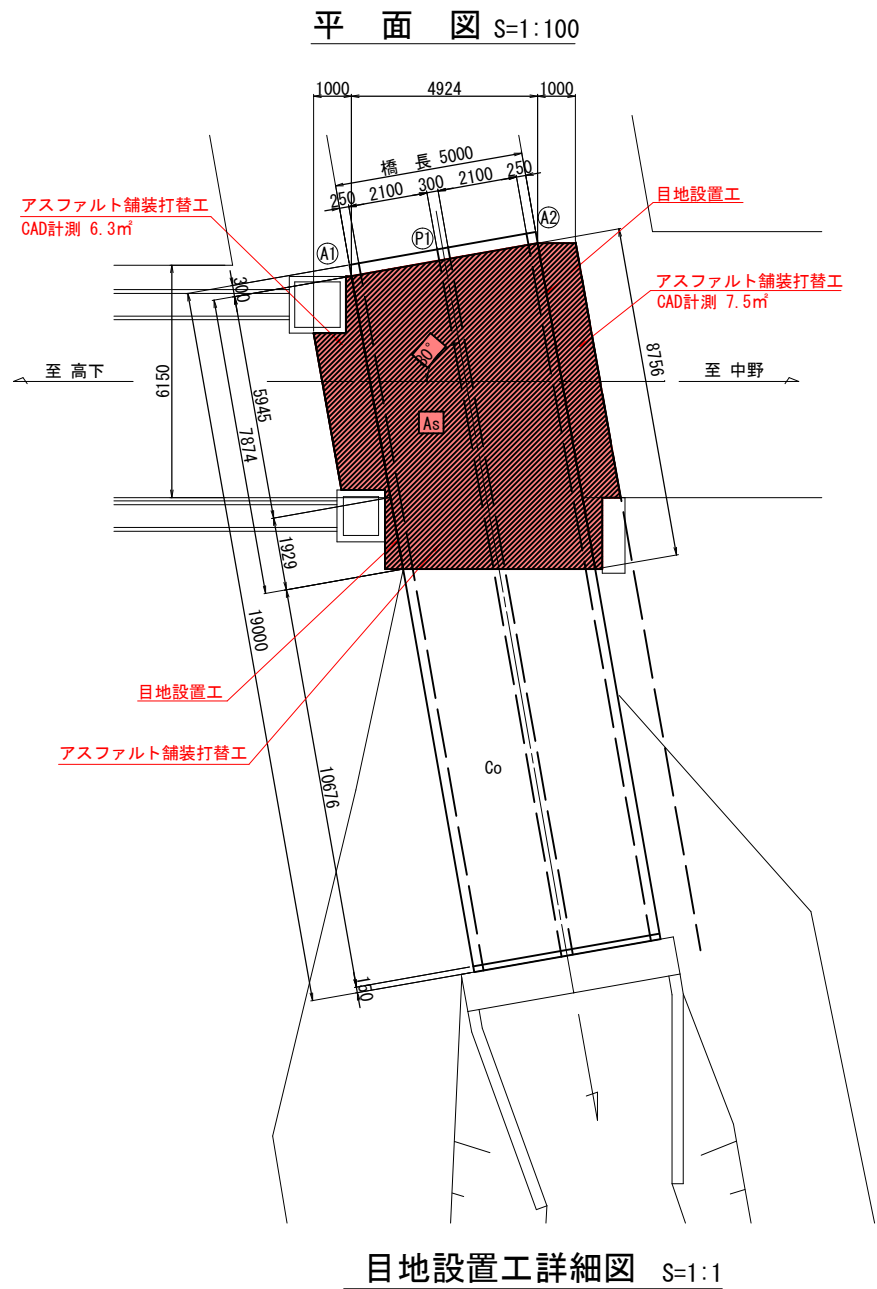


実施

1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
2. 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。

工事番号	号		
路 線 名	町道箱根田線		
施工地名	亶理市	亶理町荒浜字西木倉 地内	
工 事 名	令和年度(道補)町道亶理浜吉田線下浜街道橋外橋梁修繕工事		
図 面 名	西木倉橋 防護柵部分交換工図		
縮 尺	図 示	位置	
設 計 者		設計年度	
亶 理 町	図番		

西木倉橋 舗装打替工図



舗装工数量表

項	目	単位	数	量	摘	要
舗装版撤去	路面切削工	t=50mm	m ²	54.7	アスファルト	
	産廃運搬工		m ³	2.7		
	産廃処理工		m ³	2.7		
舗装版新設	表層工	t=50mm	m ²	54.7	密粒度As混合物(13F)改質Ⅱ型	

目地設置工数量表

項	目	単位	数	量	摘	要
目地設置工		m	16.6			
目地材	ウレタン系目地材	kg	12.2			

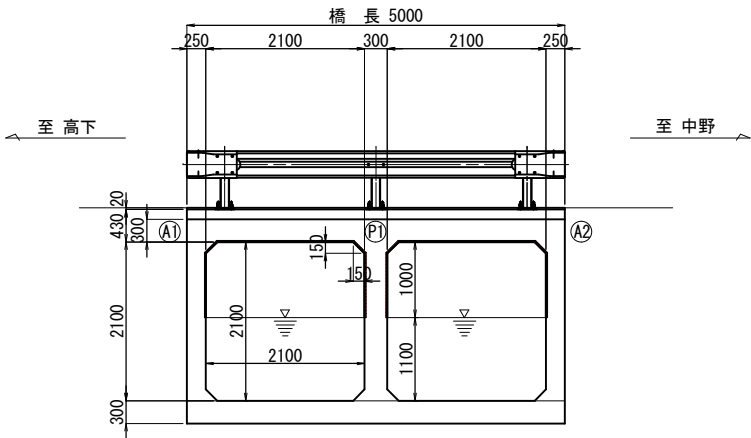
実施

工事番号	号		
路線名	町道箱根田線		
施工地名	亘理市	亘理町荒浜字西木倉	地内
工事名	令和6年度(選補)町道亘理浜吉田線下浜街道橋外橋梁修繕工事		
図面名	西木倉橋 舗装打替工図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
亘理町	図番		

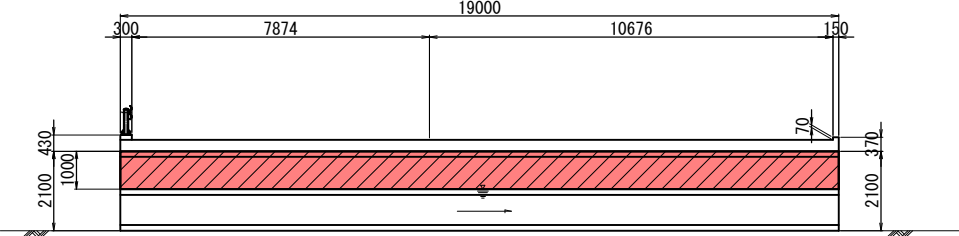
- 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
- 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。

西木倉橋 表面含浸工補修図

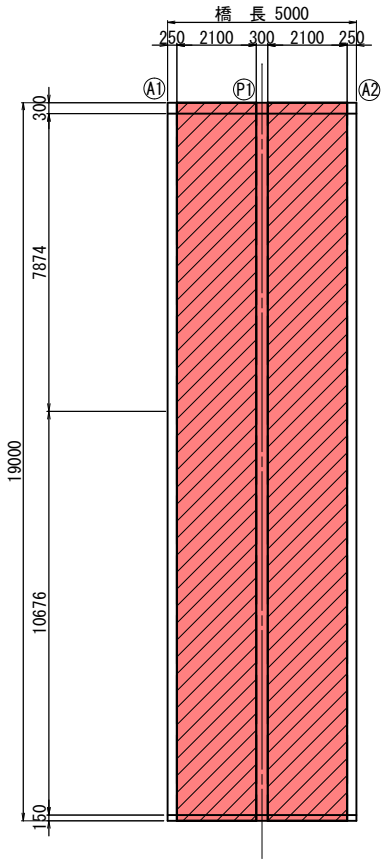
側面図 S=1:30



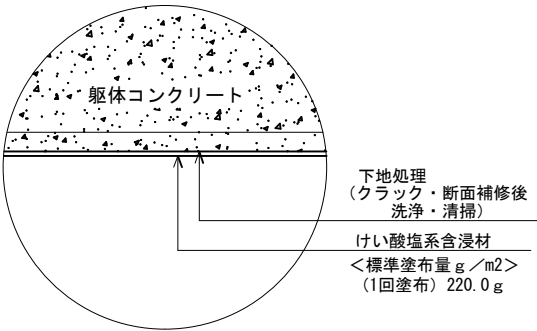
断面図 S=1:100



平面図 S=1:100



表面含浸工詳細図

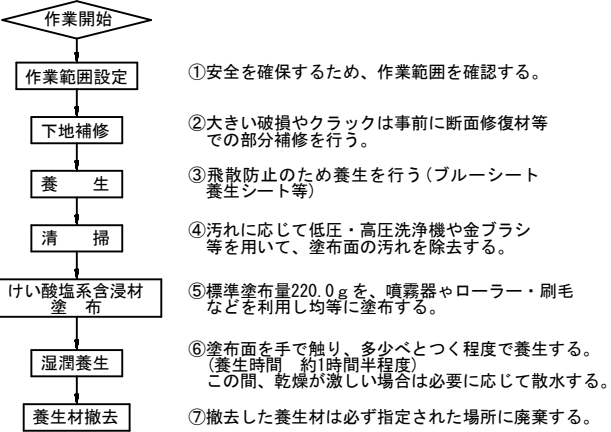


1.0㎡あたりの施工塗布量 単位 (g)	
標準塗布量	けい酸塩系含浸材 220.0

項目	目標値
性状	5～150nmのポリシリケートおよび粒子コロイド
主成分	けい酸ナトリウム・けい酸カリウム
水酸化カルシウムとの反応	有
乾燥固形分率	12%以上
種類	反応型けい酸塩系表面含浸材
密度	1.05以上
pH値	11.0以上
色	無色

表面含浸工範囲

〔けい酸塩系含浸材の施工要領〕



【備考】

- ・けい酸塩系含浸材がガラス等に付着すると除去が困難なため、飛散防止の対策が必要。
- ・湿潤養生はけい酸塩系含浸材塗布後、90分程度べとつく程度の状態を確保する為水を散布。
- ・けい酸塩系含浸材の塗布量は厳密に行う事。（事前に図面等で材料の塗布量を確認し、現場においてマーキング等を行い管理する。）
- ・本材料は成分が沈澱する場合があるので、利用前には十分に攪拌する事。
- ・下地洗浄には、酸性の薬剤及び水は利用しない事。（中和反応するため）

実施

工事番号	号	
路線名	町道箱根田線	
施工地名	亶理市	亶理町荒浜字西木倉 地内
工事名	令和6年度(道補)町道亶理浜吉田線下浜街道橋外橋梁修繕工事	
図面名	西木倉橋 表面含浸工補修図	
縮尺	図示	位置
設計者		設計年度
亶理町	図番	

1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往資料及び実測結果を基に復元したものである。
2. 施工関連諸寸法は、再度詳細調査を実施し、最終決定すること。